

別冊 2

熊本市健康増進計画  
進捗管理資料



第2次健康くまもと21基本計画

第2次熊本市健康増進計画

1 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

取り組み項目		(1)がん				
指標項目	1	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	基準値	実績値	目標値	
			H22	R2	R5	
				79.8	68.3	70.0
	2	がん検診受診率の向上 (市が実施するがん検診の他、職場検診、人間ドック等を含む)	基準値	実績値	目標値	
			H23	R5	R5	
			肺	19.9%	24.9%	40%
			胃	28.7%	35.3%	40%
大腸			27.9%	30.1%	40%	
乳	46.3%	55.7%	50%			
子宮頸	37.3%	58.8%	50%			
取り組み施策		概要				
施策1 発症予防	禁煙やバランスのとれた食事等がんに対する正しい知識の普及等を行い、がんの発症を予防する。					
施策2 早期発見	がん検診について、市民にわかりやすい情報提供や、企業や団体等と連携した啓発等をすすめることにより、がん検診の受診率向上を図る。					
施策3 情報発信・相談支援	がんサロンの支援やがんの治療、在宅医療に関する情報提供等を行い、患者や家族を支援する。					

1. 令和5年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	事業場の産業保健スタッフ等を対象とした、生活習慣病の予防、禁煙の健康影響に関する研修会を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	「まちの保健室」の活動で、高血圧、糖尿病、心疾患、肥満、喫煙習慣などの生活習慣病予防について情報提供を行い、がん検診受診勧奨を行った。(3か所)【熊本県看護協会】
	熊本県総合保健センター主催の「結核・ガン予防キャンペーンヘルシーくまもと」に健康を守る婦人の会に参加。【熊本県歯科衛生士会】
施策2	各歯科診療所における軟組織審査の継続【熊本市歯科医師会】
	口腔外科疾患に関する歯科医師向けセミナーの開催【熊本市歯科医師会】
	労働者数50名未満の事業場を対象に定期健康診断の有所見者に対する医師の面接指導や保健指導等を実施している。【熊本産業保健総合支援センター】
	協議会員定例会時、罹患者の体験談を話してもらい検診の重要性を説明【東区健康まちづくり推進員協議会】
	熊本市の委託事業として胃、肺、大腸、子宮頸部、乳房の各種がん検診及び胃がんリスク検査(血清ピロリ抗体検査)を実施した。【熊本市医師会】
	受診機会の喪失を防ぐべく、前年度の受診者に対し、受診勧奨ハガキを送付した。【熊本市医師会】
	精検未受診者に対し、精検勧奨ハガキを必要に応じて数回送付し、精検受診率の向上に努めた。【熊本市医師会】
	検診ごとに専門医で構成した委員会を設置し、年に1～2回会議を開催し、検診結果等について協議検討を行い、がん検診受診率の向上および精度管理の向上に努めた。【熊本市医師会】
	胃がん内視鏡検診において、精度管理研修会を開催し、検診結果の分析・検査方法の提示・画像評価・症例検討等を行い、精度管理の向上に努めた。【熊本市医師会】
	「まちの保健室」の活動で、高血圧、糖尿病、心疾患、肥満、喫煙習慣などの生活習慣病予防について情報提供を行い、がん検診受診勧奨を行った。(3か所)【熊本県看護協会】
加入者本人を対象に、特定健診にがん検診項目を加えた「生活習慣病予防健診」を実施。同健診には、胃・肺・大腸のがん検診項目が含まれており、令和5年度の総受診者数は173,388件。また、乳・子宮頸がん検診を実施しており、令和5年度総受診者数は40,017件。【全国健康保険協会熊本支部】	
講習会等の中で、がん検診受診の啓発を実施。【熊本市食生活改善推進員協議会】	

施策3	がん等の病気になっても治療しながら働き続けることができる環境を支援する「治療と仕事の両立支援」の啓発・支援や、がんに関する様々な情報をホームページやメールマガジンにて情報発信している。【熊本産業保健総合支援センター】
	訪問看護師を対象とした研修会「ACP～意思決定を支えるケアを考える～」(R5.12.2 参加者19名)を通し、在宅療養を行う患者や家族を支援した【熊本県看護協会】
	看護職を対象に、「がん看護の充実～がん薬物療法・放射線療法～」に関する研修会を開催し、患者や家族を支援した(R5.9.13 参加者47名)【熊本県看護協会】

2. 令和5年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	ホームページにて「がんを防ぐための新12か条」を周知した。
	すこやかくまもと栄養セミナー(食生活改善推進員養成講座)にて、がん発症を予防するための生活習慣を啓発した。
施策2	5がん検診の実施及び胃がんリスク検査を実施した。
	がん検診対象者へ個別受診勧奨はがきを送付した。 ・乳がん(41歳)、子宮頸がん(21歳)検診無料クーポン券及び検診手帳の送付 ・退職者世代(62, 66, 68, 70歳)へがん検診のお知らせを送付 ・胃がんリスク検査対象者の一部の対象者(41・45・49歳)へお知らせを送付 ・節目年齢の方(40・50・60歳)へ大腸がん郵送検診のお知らせを送付 ・乳がん(40～60代)、子宮頸がん(20～30代)ハイリスク世代の方へ受診勧奨はがきを送付 ・乳がん(40～50代)、子宮頸がん(20～30代)ハイリスク世代の方へ再受診勧奨はがきを送付
	市政だよりやSNS、ラジオ等によりがん検診の受診を啓発した。
	がん対策企業等連携協定締結企業と連携し、がん検診パンフレット及び啓発カードを配布した。
	幼児健診の中で、保護者を対象にがん検診のリーフレットを配布し、啓発を実施した。
施策3	民児協議会、校区社協長会議、自治協議会、健康まちづくり推進員会、子育てネットワーク会議、子育てサークル、高齢者サロン、すこやか栄養セミナー等においてがんに関する知識の普及やがん検診受診を啓発した。
	がん相談ホットラインを設置し専門相談員による相談・情報提供のほか、働き&子育て世代のためのがんサロンの定期開催や市民講演会等を開催し、がん患者とその家族、関係者へ相談支援・情報提供を行った。
	年間を通して市ホームページや市政だより、LINE等を活用し、がん相談支援センターやがん相談ホットライン、緩和ケア、就労支援等の情報提供を行った。 熊本県がん診療連携協議会の部会やがんサロンネットワークくまもと理事会等に参加し、相互に情報共有し、がんに関する市民や関係者への情報発信を行った。

(参考) 感染症に配慮した取り組みの実績

感染症に配慮したの取り組み内容 ※再掲	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者に対してマスク着用のお願いや手指消毒等を実施し、感染リスクの低減に努めた。【熊本市医師会】</li> <li>歯科医療機関では感染拡大時もクラスターが発生しておらず、現在も同様の感染予防対策を継続している。【熊本市歯科医師会】</li> </ul>
------------------------	--

※参考(1)

熊本市がん検診受診率(全人口による算出) 職場健診、人間ドック等含まず

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
肺がん	対象者数	406,159	411,324	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170	437,184	438,822	440,916
	受診者数	22,861	22,579	22,443	22,679	20,000	21,233	21,142	20,748	17,071	19,015	20,712	26,732
	肺がん受診率	5.6%	5.5%	5.4%	5.4%	4.8%	5.0%	4.9%	4.8%	3.9%	4.3%	4.7%	6.1%
胃がん	対象者数	406,159	411,324	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170	437,184	438,822	440,916
	受診者数	10,556	10,107	9,904	9,477	8,659	8,952	8,930	10,596	9,972	11,205	11,607	11,914
	胃がん受診率	2.6%	2.5%	2.4%	2.3%	2.1%	2.1%	2.1%	2.4%	2.3%	2.6%	2.6%	2.7%
大腸がん	対象者数	406,159	411,324	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170	437,184	438,822	440,916
	受診者数	22,670	22,467	22,194	22,512	18,108	19,763	21,817	21,725	19,781	22,436	22,139	23,048
	大腸がん受診率	5.6%	5.5%	5.3%	5.4%	4.3%	4.6%	5.1%	5.0%	4.5%	5.1%	5.0%	5.2%
乳がん	対象者数	223,671	226,426	228,879	231,220	230,316	233,702	235,310	236,738	238,142	239,202	239,874	240,929
	受診者数	12,036	11,837	14,183	11,491	9,287	10,199	13,282	14,403	13,137	13,783	13,789	14,946
	乳がん受診率	10.6%	9.9%	10.9%	10.6%	8.3%	8.1%	9.6%	11.4%	11.3%	11.0%	11.3%	11.7%
子宮頸がん	対象者数	316,947	317,693	318,399	318,762	319,447	317,810	318,049	318,096	318,681	318,596	318,783	319,115
	受診者数	19,017	18,678	23,530	16,973	13,095	17,949	20,534	24,275	24,258	27,009	25,747	27,449
	子宮頸がん受診率	12.0%	11.6%	13.0%	12.5%	8.9%	9.7%	12.0%	14.0%	15.2%	16.0%	16.5%	16.6%

※参考(2)  
無料クーポン利用率  
(R5実績)

(単位:人)		
対象者	利用者	利用率
4,595	806	17.5%
3,778	265	7.0%

※胃がん・乳がん・子宮頸がん検診受診率=(該当年度受診者÷前年度受診者÷2年連続受診者)/対象者数(胃がんはH28年度以降)

※対象者数は住基人口より算出。

# 1 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

取り組み項目		(2)循環器疾患						
指標項目	3	脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	基準値		実績値	目標値		
			H22		R2	R5		
			男性	36.3	24.7	28.4		
			女性	22.9	12.6	20.7		
		虚血性心疾患		男性	22.1	13.9	17.0	
		女性	7.6	5.2	4.3			
		4	4	血圧が正常域の者の増加	基準値		実績値	目標値
					H23		R5	R5
					51.4%		52.7%	増加傾向へ
		5	5	脂質異常症(高コレステロール血症)患者の減少 ※LDLコレステロール160mg/dl以上	基準値		実績値	目標値
H23					R5	R5		
男性	10.3%				8.9%	6.2%		
女性	15.2%				13.6%	8.8%		
6	6	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	基準値		実績値	目標値		
			H20		R4	R5		
			該当者	14.9%	19.6% (法定報告値)	H20に比べ 25.0%減少		
			予備群	13.0%	12.5% (法定報告値)			
7	7	特定健康診査の受診率・特定保健指導実施率の向上	基準値		実績値	目標値		
			H23		R4	R5		
			診査受診率	25.8%	29.9% (法定報告値)	60.0%		
			指導実施率	16.8%	11.9% (法定報告値)	60.0%		
取り組み施策		概要						
施策1	発症予防・早期発見	循環器疾患の予防に関する知識の普及や、特定健康診査の受診を啓発し、脳血管疾患、虚血性心疾患等の発症予防に取組む。						
施策2	重症化防止	要治療者で医療機関未受診の者に受診勧奨を行うとともに、脳卒中地域連携パスの利用に関する情報提供を行うなど重症化防止に努める。						
施策3	推進体制の整備	市民への啓発を進めるため、医療機関や医療保険者、事業所の健康管理者等との連携を図る。						

## 1. 令和5年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	歯周病と循環器疾患との関連を啓発【熊本市歯科医師会】
	各薬局にてCKDや糖尿病等々の疾患に関するパンフレットを置き、予防に関しての説明、相談を受けている。【熊本市薬剤師会】
	熊本シティエフエム放送健康サロンにて、「心不全とはどんな病気ですか」のテーマでアナウンスした(R5.11.22)【熊本県看護協会】
	「まちの保健室」の活動で、高血圧、糖尿病、心疾患、肥満、喫煙習慣などの生活習慣病予防について情報提供及び健康相談を行った(3か所)【熊本県看護協会】
	労働安全衛生法に基づく定期健康診断の確実な実施の履行確保【熊本労働基準監督署】
	すこやか食生活改善講習会の開催(調理実習と講話を通して、一食分の適量の確認、食塩量、野菜量、組み合わせ等の確認を実施)【熊本市食生活改善推進員協議会】

施策1	高齢者サロン、通いの場等において特定健診の重要性について説明【東区健康まちづくり推進員協議会】
施策2	各薬局で検査データの説明、相談を受けたときに医療機関の受診が必要と思われる方への受診勧奨を行っている。【熊本市薬剤師会】
	脳卒中、心疾患、肝疾患等をもつ労働者が治療を受けながら働いていくことができる環境づくりを目的とした「治療と仕事の両立支援」について研修を開催。また両立支援相談窓口を開設し、相談対応する。【熊本産業保健総合支援センター】
	50人未満の事業場においては、健康診断後の有所見者に対する医師の面接指導を地域産業保健センターにて支援を実施している。【熊本産業保健総合支援センター】

## 2. 令和5年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	特定健診・特定保健指導対象者に電話・ハガキ・SMSによる受診勧奨を実施した
	高血圧の受診勧奨対象者の通知に、高血圧と家庭血圧測定の情報記載した生活習慣病リーフレットを同封した。
	校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、循環器疾患の予防等に関する啓発を実施
	校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、特定健診の受診を啓発
	幼児健診時等の待ち時間を活用した啓発動画視聴による健康情報の発信
施策2	特定健診の結果から、Ⅱ度高血圧の要治療者に対して通知や保健師や管理栄養士による電話や家庭訪問による受診勧奨・保健指導を実施した
	後期高齢者健診の結果から、Ⅱ度高血圧の要治療者に対して通知や保健師や管理栄養士による電話や家庭訪問による受診勧奨・保健指導を実施した
施策3	「脈の日」にあわせて自己検脈についての啓発を行うとともに、熊本城天守閣を赤にライトアップした。

### (参考) 感染症に配慮した取り組みの実績

感染症に配慮した の取り組み内容 ※再掲	・各薬局にて感染、発病患者様に家庭内感染防止のための換気、消毒、ゾーニング等、家庭内感染防止の為の助言を投薬時、行っている。5類相当に変わったが、引き続き必要な助言を行う。【熊本市薬剤師会】
----------------------------	---

# 1 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

取り組み項目		(3) 糖尿病			
指標項目	8	治療継続者の割合の増加 HbA1c6.5% (NGSP値) 以上で治療中の者の割合	基準値	実績値	目標値
			H23	R5	R5
	9	血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少 ※HbA1cが8.4% (NGSP値) 以上の者	基準値	実績値	目標値
			H23	R5	R5
	10	糖尿病有病者の増加の抑制 糖尿病治療薬内服中またはHbA1c6.5% (NGSP値) 以上未治療中者の割合	基準値	実績値	目標値
			H23	R5	R5
10.2%		13.6%	減少傾向へ		
取り組み施策		概要			
施策1	発症予防	糖尿病の発症予防のため、糖尿病やその予防法について正しい理解(知識や技術等)の普及啓発を図る。			
施策2	早期発見	糖尿病の早期発見のため特定健診・職域での定期健診等の受診率向上や保健指導の徹底を行う。			
施策3	重症化防止	糖尿病の重症化を防ぎ、合併症や心血管疾患の発症予防、進展抑制を図る。			
施策4	推進体制の強化	地域保健医療の連携体制、職域や地域コミュニティー等において糖尿病の発症予防から悪化防止までの推進体制の整備を図る。			

## 1. 令和5年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	研修会を開催して熊本地域糖尿病療養指導士を養成。継続研修も開催している【熊本市薬剤師会】
	「まちの保健室」の活動で、高血圧、糖尿病、心疾患、肥満、喫煙習慣などの生活習慣病予防について情報提供及び健康相談を行った(3か所)【熊本県看護協会】
	食生活の見直しを図り糖尿病の予防に関する研修や、運動指導士による実技を取り入れた研修を開催。【熊本産業保健総合支援センター】
	すこやか食生活改善講習会の開催【熊本市食生活改善推進員協議会】
施策2	職場において、例年正規・非正規職員の全員が定期健康診断を受診し、検診指摘後のフォローを行っている。【熊本県看護協会】
	35歳以上の被保険者を対象に、特定健診にがん検診項目を含む「生活習慣病予防健診」を実施。5年度受診率は69.4%【全国健康保険協会熊本支部】
	40歳以上の被扶養者を対象に特定健診を実施。5年度受診率は25.2%【全国健康保険協会熊本支部】
	熊本支部および外部委託(健診機関、専門機関)による特定保健指導を実施。5年度被保険者の特定保健指導実施率42.3%【全国健康保険協会熊本支部】
	労働安全衛生法に基づく定期健康診断の確実な実施の履行確保【熊本労働基準監督署】
施策3	糖尿病と歯周病の関係の啓発と、重症化を防ぐための歯周病治療への取り組み【熊本市歯科医師会】
	各薬局にて糖尿病患者様への重症化リスクを説明し、合併症や心血管イベント等説明するとともに血糖コントロールの重要性を伝えている。【熊本市薬剤師会】
	収縮期血圧160mmHg以上、拡張期血圧100mmHg以上、空腹時血糖126mg/dL以上もしくはHbA1c6.5%以上、LDLコレステロール180mg/dL以上の医療機関未受診者に受診勧奨を実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	糖尿病等をもつ労働者が治療を受けながら働いていくことができる環境づくりを目的とした「治療と仕事の両立支援」について研修を開催。また両立支援相談窓口を開設し、相談対応する。【熊本産業保健総合支援センター】

2. 令和5年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	糖尿病の受診勧奨通知に、糖尿病と専門医の情報を記載した生活習慣病リーフレットを同封した。
	校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、糖尿病やその予防等に関する啓発を実施。
	糖尿病予防教室を開催し、糖尿病予防についての医師講話や、運動・食生活・口腔との関係などについて、正しい知識の普及等を行った。
	幼児健診時、保護者向けに朝食の大切さとバランスの良い食事について啓発を行った。
	すこやかくまもと栄養セミナー(食生活改善推進員養成講座)にて、糖尿病を予防するための啓発を行った。
	「世界糖尿病デー」に合わせ、本庁舎1階ロビーにて糖尿病予防に関する展示を行うとともに、SNS等での情報提供を実施した。
施策2	特定健診・特定保健指導対象者に電話・ハガキ・SMSによる受診勧奨を実施した。
	糖尿病の早期発見のため、校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、特定健診の受診を啓発
	幼児健診時等の待ち時間を活用した啓発動画視聴による健康情報の発信
	健康相談の実施
施策3	特定健診の結果から、糖尿病の未治療者やコントロール不良者、中断者に対して通知や保健師や管理栄養士による電話や家庭訪問による受診勧奨・保健指導を実施した
	後期高齢者健診の結果から、糖尿病の未治療者やコントロール不良者に対して通知や保健師や管理栄養士による電話や家庭訪問による受診勧奨・保健指導を実施した
施策4	イベント等を通じて、特定健康診査の受診等について啓発を行った。
	「校区単位の健康まちづくり」のさらなる活性化をめざし、各区の活動方針の改定を行った。

# 1 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

取り組み項目	(4)CKD(慢性腎臓病)				
指標項目	11	新規人工透析者数の減少	基準値	実績値	目標値
			H23	R5	R5
			273人	212人	200人
取り組み施策	概要				
施策1	発症予防	CKDの発症予防のためCKDやその予防法について正しい理解(知識や技術等)の普及啓発を図る。			
施策2	早期発見	CKDやCKDの危険因子である糖尿病や高血圧などの早期発見のために、特定健診・職域での定期健診等の受診率向上や保健指導の徹底を行う。			
施策3	重症化防止	要医療者(腎機能悪化者、糖尿病患者、重症高血圧者など)へ医療機関受診勧奨を行い、CKDや心血管疾患などの予防、進展抑制を図る。			
施策4	推進体制の強化	地域保健医療の連携体制、職域や地域コミュニティー等においてCKDの発症予防から悪化防止までの推進体制の整備を図る。			

## 1. 令和5年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	糖尿病と歯周病の関係の啓発と、CKD発症につながらないような歯周病治療への取り組み【熊本市歯科医師会】
	CKDの研修会に参加し正しい知識を取得し、普及啓発を図っている。【熊本市薬剤師会】
	「まちの保健室」の活動で、高血圧、糖尿病、心疾患、肥満、喫煙習慣などの生活習慣病予防について情報提供及び健康相談を行った(3か所)【熊本県看護協会】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に、CKDの危険因子である糖尿病や高血圧等に関する研修会を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	すこやか食生活改善講習会の開催【熊本市食生活改善推進員協議会】
施策2	職場において、例年正規・非正規職員の全員が定期健康診断を受診し、検診指摘後のフォローを行っている。【熊本県看護協会】
	35歳以上の被保険者を対象に、特定健診にがん検診項目を含む「生活習慣病予防健診」を実施。5年度受診率は69.4%【全国健康保険協会熊本支部】
	40歳以上の被扶養者を対象に特定健診を実施。5年度受診率は25.2%【全国健康保険協会熊本支部】
	熊本支部および外部委託(健診機関、専門機関)による特定保健指導を実施。5年度被保険者の特定保健指導実施率42.3%【全国健康保険協会熊本支部】
	労働安全衛生法に基づく定期健康診断の確実な実施の履行確保【熊本労働基準監督署】
施策3	各薬局にて特定健診や定期健診の結果を見せて頂き、医療機関受診勧奨や必要な助言を行っている。【熊本市薬剤師会】
	収縮期血圧160mmHg以上、拡張期血圧100mmHg以上、空腹時血糖126mg/dL以上もしくはHbA1c6.5%以上、LDLコレステロール180mg/dL以上の医療機関未受診者に受診勧奨を実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	CKDハイリスク者への受診勧奨を実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	食生活の見直しを図り糖尿病からのCKD予防に関する研修や、運動指導士による実技を取り入れた研修を開催。【熊本産業保健総合支援センター】

2. 令和5年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	慢性腎臓病対象者の受診勧奨通知に、慢性病と専門医の情報記載した生活習慣病リーフレットを同封した
	校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、CKDやその予防等に関する啓発を実施
	池田校区の民生委員を対象に、CKD予防をテーマにした「食に関する勉強会」を実施。
	民児協会議、幼児健診時にCKDやその予防に関する情報提供を実施
	幼児健診時、保護者向けに朝食の大切さとバランスの良い食事について啓発を行った。
	すこやかくまもと栄養セミナー(食生活改善推進員養成講座)にて、CKDを予防するための生活習慣を啓発した。
	熊本大学腎臓内科及び腎臓病療養指導士連絡協議会との共催により、地域でのイベント等の場において、CKDの予防に関する啓発を実施した。
世界腎臓デー(3月第2木曜日)に市役所ロビーでの啓発コーナーの設置やSNS等により、CKD予防の情報提供を実施した。	
施策2	特定健診・特定保健指導対象者に電話・ハガキ・SMSによる受診勧奨を実施した
	校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、特定健診の受診を啓発
	1歳半健診時に、妊娠健診で尿蛋白陽性であった者(保護者)に対し、尿検査キットの配布を実施
	健康相談の実施
施策3	特定健診の結果から、CKDの要治療者に対して通知や保健師や管理栄養士による電話や家庭訪問による受診勧奨・保健指導を実施した
	後期高齢者健診の結果から、CKDの要治療者に対して通知や保健師や管理栄養士による電話や家庭訪問による受診勧奨・保健指導を実施した。対象基準:尿蛋白2+以上もしくはeGFR30未満
施策4	CKD対策病診連携システムの推進を図るため、登録医及び特定健診実施機関の医師を対象に研修会を開催した。(R6.4.1現在、病診連携登録医:205医療機関、259名 うち新規登録8名)

## 2 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上

取り組み項目		(1)こころの健康			
指標項目	12	自殺者の減少(人口10万人当たり)	基準値	実績値	目標値
			H17	R5	R5
			19.3	14.5%	12.0
	13	睡眠を十分にとっている市民の割合	基準値	実績値	目標値
			H24	R5	R5
			53.3%	47.5%	68.7%
14	ストレスをためないよう気分転換を図っている市民の割合	基準値	実績値	目標値	
		H24	R5	R5	
		51.1%	42.5%	65.7%	
取り組み施策		概要			
施策1	早期発見や啓発等	こころの健康相談などを通して、うつ病の早期発見や早期治療につなげるとともに、市民への精神疾患についての啓発を行う。			
施策2	子どもたちのこころの健康	子どもたちのこころの健康保持と子どもたちを取り巻く関係者への児童思春期の精神保健等の理解の普及を図る。			
施策3	自殺対策	自殺対策として包括相談会や啓発等を行うとともに、関係者間の連携強化を図る。			

### 1. 令和5年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	熊本シティエフエム放送健康サロンにて、「うつ病とは 症状と支援について」のテーマでアナウンスした(R5.5.10)【熊本県看護協会】
	職場のメンタルヘルスクエア対策～看護職のストレスマネジメント～の研修会開催(R5.8.31 参加者 50名)【熊本県看護協会】
	看護職のアンガーマネジメント～コミュニケーション・スキルを磨き、楽しく仕事しよう～の研修会開催(R5.7.29 参加者85名)【熊本県看護協会】
	看護管理者に必要なレジリエンス～予測不能な時代を生き抜くために～の研修会開催(R5.5.30 参加者59名)【熊本県看護協会】
	熊本産業保健総合支援センターと連携した同センター相談窓口の周知広報。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業所の産業保健スタッフ等を対象に、メンタルヘルスクエア関連及びストレスチェック制度導入等の研修会を開催。【熊本産業保健総合支援センター】
	事業所の要請による事業場への個別訪問を実施しメンタルヘルスに関する取り組み支援を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	事業場におけるストレスチェックの確実な実施を監督指導【熊本労働基準監督署】
	「熊本こころの健康アドバイザー制度」の周知と利用勧奨【熊本労働基準監督署】
施策2	自治会等会議、その他イベントへの参加を通じた、障害(精神障害)についての啓発【熊本市障がい者相談支援センターウィズ(中央区より)】
	地域の回覧板に広報誌(障害に関する情報を記載)の添付を依頼【熊本市障がい者相談支援センターウィズ(中央区より)】
	地域におけるメンタルヘルス相談対応【熊本市障がい者相談支援センターウィズ(中央区より)】
	画図小で講演会「命の授業 ドリー夢メーカーと今を生きる」を開催。講師の越塚勇人氏(神奈川県出身、元中学校・養護学校教員)は大事故で体が動かなくなる障害を負うが、奇跡的に回復し、教育の現場に復活する。人生に絶望した状況から成しえた奇跡の復活の経緯を通して、命について考える「授業」を展開した。【熊本市PTA協議会】
	スクールカウンセラーの佐藤佳志子氏による講演会「親子の境界線について」を壺川小で実施。日頃の自分＝保護者と、子どもとの関係性を見つめ直す必要性と、子どもとの関わり方を説明した。【熊本市PTA協議会】

施策3	職場における自殺の予防と対応をテーマとした研修会の実施、並びに自殺予防に関する情報提供を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	希死念慮等のメンタルヘルス相談対応【熊本市障がい者相談支援センターウィズ(中央区より)】

## 2. 令和5年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	市民へのこころの健康づくり講演会(1回 参加者19人)。
	心の健康相談を1回/月実施。(精神科医による予約制の個別の面接相談等)
	精神障がい者地域生活移行支援部会等に参加し、情報交換を行った。
	各校区の自治協・民協等の定例会において「心のケア」に関する相談先を周知(西区:10回 168人)。
施策2	思春期における精神保健福祉に関する研修会(思春期精神保健福祉研修会)を教育・医療・福祉関係者を対象に実施(1回106人参加)。
	学校における心の健康についての環境整備や早期発見の取組として、児童生徒や保護者が悩み等を話せるようにスクールカウンセラー(相談件数述べ12,699件)、心のサポート相談員(小学校40校)の配置やスクールソーシャルワーカー(派遣数1096件)、ユア・フレンド(派遣数2942回)を派遣した。スクールカウンセラーは全中学校42校区に配置してすべての小中学校に対応し、スクールソーシャルワーカーは16人体制で活動し全小中学校に対応した。
	精神的問題や育児不安等を抱える妊産婦に、産科医療機関と連携し妊娠中から訪問等の支援を実施。出産後も産後うつ等の産婦への訪問等を早期に実施し、切れ目のない支援を行っている。
施策3	精神科医・弁護士等による包括相談会を実施(4回 延べ59件)。 また自殺予防週間にあわせて時間を延長し、電話相談(延べ192件)を実施。
	自殺予防研修会(1回 参加者数100人)、自死遺族支援者研修会(1回 参加者数26人)、ゲートキーパー養成研修(支援者向け 5回 参加者数91人、市民向け 5回 参加者数1,731人、庁内職員向け動画研修 2回 参加者数3,495人)、電話対応スキルアップ研修会(1回 参加者41人)、災害時のこころのケア研修会(2回 延べ参加者数132人)、生徒指導主任・主事研修会(1回 参加者136人)を実施。 自死遺族グループミーティング(7回 延べ参加者数35人)を実施。 自殺未遂者支援事業(電話257,メール170,手紙12,来所38,訪問27※すべて延べ件数)を実施。
	SNS相談事業を令和5年4月1日～令和6年3月31日まで実施。
	うつ病等の精神疾患の早期発見・早期治療を図るため、「かかりつけ医等心の健康対応力向上事業」を実施(県との合同事業)。
	障がい保健福祉ネットワーク連絡会や地域生活移行支援会議等に参加し、情報交換、事例検討会を行った。

## 2 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上

取り組み項目		(2) 次世代の健康			
指標項目	15	全出生数中の低出生体重児の割合の減少	基準値	実績値	目標値
			H22	R3	R5
			9.2%	10.0%	減少傾向へ
	16	肥満傾向にある子どもの割合の減少 (小学校5年生の中等度・高度肥満傾向児の割合)	基準値	実績値	目標値
			H23	R5	R5
			男子	3.98%	6.50%
		女子	2.92%	4.70%	減少傾向へ
	17	運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加 (週に3日以上運動習慣のある小学5年生)	基準値	実績値	目標値
			H23	R5	R5
			男子	66.3%	59.6%
		女子	41.4%	40.3%	増加傾向へ
	18	子どもたちが健やかに成長していると感じる市民の割合	基準値	実績値	目標値
H24			R5	R5	
		56.4%	51.3%	66.0%	
19	子育てが楽しいと感じる市民の割合	基準値	実績値	目標値	
		H24	R5	R5	
		83.8%	79.7%	91.0%	
取り組み施策		概要			
施策1	早産予防	低出生体重児の減少を図るため妊娠前や妊娠期の心身の健康づくりを推進する。			
施策2	子どもの健康的な生活習慣の獲得	子どもの健やかな発育や生活習慣の形成のため、健康支援や子育て支援の充実を図るとともに、保育園や幼稚園、学校等、関係機関との連携強化を図る。			
施策3	子育てしやすい環境づくり	子育て中の親子が地域の中で安心して暮らしていけるために、地域の子育て情報の提供や親子同士の交流を行うなど、地域での子育て支援の充実を図る。			
施策4	思春期等への支援	性感染症の予防など思春期等における健康づくりを行う。			

1. 令和5年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	歯周病と早産との関係の啓発と、歯周病治療による早産予防。子供の虫歯罹患率の減少への取り組み【熊本市歯科医師会】
	「助産師が行う骨盤ケア～健やかなマタニティライフを過ごしてもらうために～」の研修会を開催し、助産実践能力強化と資質向上に向けた支援を行った(R5.9.3 参加者21名)【熊本県看護協会】
	「周産期の糖代謝異常～助産師に求められるケア～」の研修会を開催し、助産実践能力強化と資質向上に向けた支援を行った(R5.10.7 参加者25名)【熊本県看護協会】
施策2	学校薬剤師が各担当校からの依頼により、「早寝早起き朝ごはん」についての講演を行っている。【熊本市薬剤師会】
	学校保健委員会に参加し、健康教育への助言を行っている。【熊本市薬剤師会】
	内科検診や歯科検診の実施により、疾病やむし歯等の早期発見に努めた。園だより等で園児の健康管理の必要性について保護者に知らせた。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	帯山小で「子どもは未来の宝もの」と題した講演会を実施。元慈恵病院看護師長で「由来ハウス」オーナーの田尻由貴子氏を講師に招き、「このとりのゆりかご」の経験を踏まえた命の大切さについて聴講した。【熊本市PTA協議会】
	こどもの食育推進ネットワークにおいて、保育園等の施設と連携し、食育推進のためのイベント等に協力した。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	園児や保護者に対して家庭での生活や食事のあり方について、園だよりや学年だより等で知らせた。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	フッ化物洗口について、実施園の成果等を他園にも知らせ啓発に務めた。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
施策3	新型コロナウイルス感染が第5類に移行された後も、園児の手洗いやうがいの励行を続けるようにした。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	地域の子育てサークル等で、おやつを提供や、乳幼児期の食生活についてお話しを行った。【熊本市食生活改善推進員協議会】
施策4	各区役所保険子ども課と連携を図り、園児の健康相談はじめ児童虐待防止に務めた。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	園児の心の安定を図るため、園内での健康状態の把握と家庭での生活状況の把握に務めた。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	助産師職能委員会で、県下の高校・中学校・小学校に性教育出前授業を実施しており、「命の大切さ、心と体」のテーマで生命誕生や、性感染症について講義を行った。(17校22回)【熊本県看護協会】
施策4	助産師を対象とした「思春期にある対象者の理解/性教育のあり方」の研修会開催(R5.8.19 参加者21名)【熊本県看護協会】
	熊大附属小で「子どもの心と体について～性教育～」と題し、(一社)熊本県助産師会の余湖奈美氏が包括的な性教育を講演。親子で話す“生と性”について話し合うタイミングやポイントをはじめ、性被害に遭った時の対応等についても言及した。【熊本市PTA協議会】

2. 令和5年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	親子(母子)健康手帳交付時に早産予防および妊娠期の異常の早期発見・対応についての保健指導を行い、妊婦健康診査受診票を交付して定期健診の受診勧奨を行う。
	母子手帳交付時保健師や栄養士等が面談し、妊娠期の健康づくりについて情報提供を行った。
	結婚・子育て応援サイトのQ&Aに妊娠期の過ごし方や健康管理について情報掲載
施策2	小学4年生の肥満度20%以上の児童を対象に、市医師会と連携した小児生活習慣予防検診を10月～12月に実施し、294人(対象者の38.8%)が受診した。また3月には小児生活習慣予防検診を受けた児童とその保護者を対象に、小児生活習慣病予防検診説明会を実施した。さらに「生活習慣改善啓発パンフレット」と「健康手帳」を教育委員会が作成し、各学校で活用している。就学時健康診断において全就学児保護者に「生活習慣改善啓発パンフレット」を配布し、生活習慣の確立を呼びかけている。また各学校に健康手帳及び生活習慣改善啓発パンフレットを配布し、肥満度20%以上の児童生徒や保護者等に保健指導を行うよう周知している。
	熊本市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、子どもの健康や子育てを支援している。
	熊本市立保育園給食の食事計画評価とあわせて、身体状況・主食量調査を行い、肥満・やせ等の状況把握と個別結果に基づく啓発を行った。
	生活リズムや感染症予防、健康に関する情報について、「ほけんだより」や「食育だより」を発行し、保護者啓発を行った。
	在園児の心身の健康状態や疾病の把握のために、定期的に健康診断や身体測定等を行い、発育・発達に応じて保育を行った。
	区・校区子育て支援ネットワーク、学校保健委員会等において、こどもの生活リズム等について情報共有。
	子育てサークル等でこどもの生活習慣・生活リズムについて健康教育を実施。
	学校のいじめ防止等対策委員会に保健師が出席し、情報交換を実施。(4回 36人)
	中学校において妊婦子育て講演会を実施(1回 150人参加)
	小中学校保健員会や就学時健診で、規則的な生活習慣の必要性等について健康教育を実施
	家庭訪問や子育てサークル等で、子どもの成長確認、生活習慣・生活リズムについて健康教育を実施、保育園や幼稚園、学校等、関係機関との連携を図った
	食育実践講座(離乳食教室)を行い、乳児の食事について啓発を行った。(6回34人参加)
	こどもの食育推進ネットワーク地域研修会において、グループワークを行い情報共有した。
	幼児健診時、生活リズムについて啓発した。
	生命の大切さや妊娠・出産、今必要な生活習慣について考える機会として健康教育を実施した。(中学校1校 163名 )
	幼児健診時に「早寝・早起き」等生活リズムについての啓発を実施。

施策3	熊本市結婚・子育て応援サイトにおいて、親子にやさしいお出かけマップや子育て応援団体によるイベント等の子育てに役立つ情報を発信した。
	子育て支援センター等の地域子育て支援拠点事業では、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育てに関する相談及び地域の子育て関連情報の提供を実施している。
	校区区子育て支援ネットワーク運営委員会・連絡会の実施
	西区子育てネットワーク連絡会で子育て世代の防災ブック作成のワークショップ開催(12回 67名参加) 子育て世代の防災ブック第2弾500部作成。
	市民に対し、子育て応援マップ「るるらん」の配布と市ホームページの掲載を通じ、子育て支援ネットワーク活動の周知
施策4	くまもと森都心プラザ「プラザ図書館」内に子育て支援施設「駅前子育てひろば」を設置し、医師・保健師・栄養士・歯科衛生士による健康教育や育児相談を実施。(4回 23組)
	市内の中学校において中学3年生を対象としたエイズ・性感染症予防出前講座を実施
	高校・専門学校へ専門医(産婦人科医、泌尿器科医)を派遣し、エイズ・性感染症予防講演会を実施
	学校や教育委員会へエイズ・性感染症に関するオリジナルのチラシやリーフレット等を配布
	特別支援学校の生徒を対象に、生命の大切さや妊娠・出産等について考える機会として健康教育及び体験学習を実施。

(参考) **感染症**に配慮した取り組みの実績

<b>感染症に配慮した の取り組み内容 ※再掲</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文科省や県・市からの感染症防止についての依頼の確認と実施に努める。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】</li> <li>・設置者園長会や定例理事会で情報交換し、各園での感染防止に努めており、継続していく。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】</li> <li>・今年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、中学校の健康講話では地域の民生児童委員も参加し、子育て講演会と妊婦・育児体験を実施した。【行政】</li> </ul>
-------------------------------------	---

## 2 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上

取り組み項目		(3) 働き盛り世代の健康				
指標項目	7	特定健康診査の受診率・特定保健指導実施率の向上	基準値		実績値	目標値
			H23		R4	R5
			診査受診率	25.8%	29.9% (法定報告値)	60.0%
指導実施率	16.8%	11.9% (法定報告値)	60.0%			
取り組み施策		概要				
施策1	若いころからの健康意識の醸成	校区における健康まちづくりの推進組織と職域保健、その他の関係団体、行政等が連携を図り、働き盛りの若い世代への健康に関する普及啓発を行う。				
施策2	生活習慣病の発症予防	関係機関が連携し、特定健康診査やがん検診等の必要性や受診方法等についての情報提供を行い、生活習慣病の発症予防に取り組む。				
施策3	働き盛り世代のこころの健康	市民へうつ病等の精神疾患に関する啓発を進めるとともに、ストレスの原因となる長時間労働や失業等の社会要因に対しては労働関係機関との連携を図り、働きざかりのこころの健康づくりを進める。				

### 1. 令和5年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	東区健軍商店街の健康フェスタに参加し、薬剤師会ブースにて健康やお薬の相談を受けている。【熊本市薬剤師会】
	園児や保護者に対して家庭での生活や食事のあり方について、園だよりや学年だより等で知らせた。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	東区民まつりやイベント等で体力測定を行い体力の維持増進を図るための説明を実施【東区健康まちづくり推進員協議会】
施策2	歯科の受診率が低い世代なので、効果的な受診勧奨【熊本市歯科医師会】
	熊本商工会議所等と連携し、会報誌への健診受診の記事を掲載。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業所が健康経営に取り組むことを宣言する「ヘルスター健康宣言」事業を推進。宣言項目には従業員・家族の健診受診率の目標を記載。5年度末で宣言を行った事業所数は約3,000事業所。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に、生活習慣病に関する研修会を実施。また、50人未満の事業場については地域産業保健センターより健康診断後の有所見者に対する医師の意見聴取や保健指導を実施する。【熊本産業保健総合支援センター】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に産業保健に関する研修会、また事業場からの事業場の要請による個別訪問を実施し心身の健康についての教育、保健指導等支援を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	定期健康診断結果を反映した生活習慣病予防等の健康保持増進を指導【熊本労働基準監督署】
特定健診やがん検診についてイベント等でパネルを利用し説明【東区健康まちづくり推進員協議会】	

施策3	職場のメンタルヘルスケア対策～看護職のストレスマネジメント～の研修会開催 (R5.8.31 参加者 50名)【熊本県看護協会】
	看護職のアンガーマネジメント～コミュニケーション・スキルを磨き、楽しく仕事しよう～の研修会開催 (R5.7.29 参加者85名)【熊本県看護協会】
	看護管理者に必要なレジリエンス～予測不能な時代を生き抜くために～の研修会開催 (R5.5.30 参加者59名)【熊本県看護協会】
	熊本産業保健総合支援センターと連携した同センター相談窓口の周知広報。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に、メンタルヘルス対策に関する研修会や情報提供を実施、また事業場からの事業場の要請による個別訪問を実施し若年労働者向けのメンタルヘルス対策の教育や管理監督者向けに体制づくり、部下のメンタル不調に対する予防法等のメンタルヘルス対策の教育支援を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	各区役所保険子ども課と連携を図り、園児の健康相談はじめ児童虐待防止に務めた。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	園児の心の安定を図るため、園内での健康状態の把握と家庭での生活状況の把握に務めた。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	事業場におけるストレスチェックの確実な実施を監督指導【熊本労働基準監督署】
「熊本こころの健康アドバイザー制度」の周知と利用勧奨【熊本労働基準監督署】	

## 2. 令和5年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	北区管内の図書館(室)と連携して野菜をテーマにした企画展を開催した。
	食育月間に区役所ロビーにてパネル展示やレシピの配布等を行った。
	北区で作成した野菜摂取促進ポスターを管内の各種団体で掲示してもらい啓発を図った。特に保育園等で行うことで働き盛り世代への啓発につながった。
	「熊本市北区発！農家めしプロジェクト」として、北区の農家の方に野菜レシピを紹介してもらい北東部農業振興センター、植木まちづくりセンターと連携し野菜の普及及び摂取促進の啓発を図った。
	幼児健診時、保護者向けに朝食の大切さとバランスの良い食事、カルシウムの摂取についてのチラシ、栄養成分表示の見方のチラシを配布し啓発を行った。
	野菜摂取促進のための啓発動画を北区役所のモニターで放映した。
	幼児健診時等の待ち時間を活用した啓発動画の視聴により、子育て中の若い世代をターゲットに西区の健康課題や健康情報の発信を行った。

施策2	特定健診対象者へ送付した受診券の同封文書において、がん検診に関する内容も含め、受診勧奨を行った。
	特定健診・特定保健指導対象者に電話・ハガキ・SMSによる受診勧奨を実施した
	熊本市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、生活習慣病予防を支援している。
	地域における特定健診・がん検診の啓発・受診勧奨
	九州森林管理局での栄養講話の実施及び健診受診の勧奨
	幼児健診や家庭訪問等で保護者・家族に特定健康診査やがん検診等の必要性や受診方法等についての情報提供を行った。
施策3	地域の会議、イベントや健康教育等において、がん検診や特定健診の受診勧奨を実施。
	市民へのこころの健康の啓発として、講演会の開催やパンフレット配布、市政だより、ホームページを活用した啓発、市民へのこころの健康づくり講演会を実施(1回 参加者19人)。
	市民や地域の支援者に対し、ストレスに関する講話を実施(5回 延参加者1170人)。

(参考) **感染症**に配慮した取り組みの実績

感染症に配慮した の取り組み内容 ※再掲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「職場における新型コロナウイルス感染症対策実施のため取組の5つのポイント」の周知と実施 勧奨【熊本労働基準監督署】</li> <li>・「職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト」の配布と活用 勧奨【熊本労働基準監督署】</li> </ul>
----------------------------	---

2 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上					
取り組み項目		(4) 高齢者の健康			
指標項目	20	65歳以上の元気な高齢者の割合	基準値	実績値	目標値
			H22	R5	R5
			80.6%	79.51%	78.46%
	21	住民主体の通いの場(定期的に介護予防活動等を行うための場)の数	基準値	実績値	目標値
			H28	R5	R5
			605	811	776
	22	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している市民の割合の増加	基準値	実績値	目標値
			H27	R5	R5
			50.3%	50.1%	80.0%
	23	二次予防事業利用者の見込み	基準値	実績値	目標値
			H23	指標廃止	
			1,048人		
取り組み施策		概要			
施策1	元気高齢者の増加	高齢者の健康づくりに関する食や運動(ロコモティブシンドローム予防)、口腔保健などの情報提供等を行い、高齢者の健康増進を図る。			
施策2	介護予防	要介護状態にならないよう、介護予防に関する支援体制の充実等を図る。			
施策3	認知症高齢者支援	認知症の早期発見や早期治療を推進するとともに、認知症高齢者や家族の相談体制の整備等を図る。			

1. 令和5年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	オーラルフレイルの啓発と予防への取り組み【熊本市歯科医師会】
	「まちの保健室」で健康相談を行うボランティアを対象とした研修会において、「高齢者のフレイル予防について～骨折を予防し、元気で長生きするために～」をテーマに研修会・交流会を開催(R5.5.27 参加者36名)【熊本県看護協会】
	歯の祭典などのイベントで技工物の相談を通じてメンテナンス方法などのアドバイスを実施【熊本市歯科技工士会】
	社会参加の必要性を重要性を周知【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に、50歳を超えてからの健康づくりや転倒リスク回避のための強化法、健康不調を予防するセルフケアのやり方等の研修を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(=エイジフレンドリーガイドライン)」の周知及び実施勧奨【熊本労働基準監督署】
	地域の高齢者サロンでの食事の話や男性料理教室等を開催し、食育を推進した。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	管内、13グループによるミニデイサービスを行った。【熊本市農業協同組合】
	校区の集いの場で、栄養に関する講話1ヶ所実施【ささえりあ帯山(中央区より)】
	校区の集いの場において、口の健康(特定検診案内)について講話、体操、情報提供等11カ所実施【中央区代表】
	校区の集いの場において、ロコモティブシンドローム予防の講話と運動を実施【ささえりあ帯山(中央区より)】
	民生委員不在校区での通いの場を立ち上げ、周辺住民へ体操やレクリエーション等で仲間づくり等を行う【東区健康まちづくり推進員協議会】
高齢者サロン、通いの場、東区民まつり、校区イベント等でロコモ予防、転倒予防等の体力測定や体操等を実施【東区健康まちづくり推進員協議会】	

施策2	ささえりあ主催の地域連携会議に参加し、介護各職種との連携を行っている。【熊本市薬剤師会】
	「高齢者の暮らしを支える看護職連携・多職種連携の実際」についてオンデマンド研修を開催 (R5.6.14 参加者 52名)【熊本県看護協会】
	運動・口腔・栄養(二次予防事業)を踏まえ、介護予防のための研修会の開催【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	総合事業やサロン立ち上げ。行政や他機関との協働によりサロン継続支援【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	校区の集い場でフレイル予防や運動の必要性等について講話や指導、情報提供を12ヶ所実施。保健と介護予防の一体化事業や広域リハビリ、保健子ども課等と協力して体力測定及びそのフィードバック、運動指導等を行い健診の必要性と予防について参加者で共有【ささえりあ帯山(中央区より)】
	3つの中学校校区で、地縁組織、福祉事業所、医療機関、行政等含めて、「お互い様のまちづくり研修会」を開催し、町内マップを活用して、身近な集いの場所について町内単位でグループワークを開催し実践に結びつく研修会を開始した。【中央区代表】
新規で、集いの場の運動型の集いの場1ヶ所、サロン2ヶ所立ち上げた【中央区代表】	
施策3	各薬局にて認知症高齢者やその家族の相談を受けている。【熊本市薬剤師会】
	「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」のテーマで研修を3回開催し、認知症ケアに活かした (R5.6.22～23, 8.8～8.9, 12.5～12.6 参加者 242名)【熊本県看護協会】
	認知症の人や家族を支えるための「熊本県市看護職員認知症対応向上研修(マネジメント編)」を開催。医療機関内全体で認知症の人の生活環境の維持・向上を維持することを目指し、研修修了者は同じ医療機関等の看護師に対し伝達を行う。(R5.10.14・11.18 参加看護職員 43名)【熊本県看護協会】
	認知症予防教室の開催【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	認知症徘徊模擬訓練により、地域住民へ認知症の理解と支援体制を学ぶ【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	託麻原、帯山、帯西小学校に、認知症キッズサポーター養成講座を開催。その後、3つの小学校では、高齢者の気持ちを知るために、高齢者疑似体験を実施した。また、企業1ヶ所、校区1ヶ所にも認知症サポーター養成講座を実施【校区社会福祉協議会、ささえりあ帯山(中央区より)】
	託麻原校区社会福祉協議会主催の認知症介護家族の集いが3カ月に1回開催された。【中央区代表】
校区の集いの場で、認知症についての講話、その予防について、脳トレなどを実施した。【中央区代表】	
協議会員に認知症サポーターになるための講義を実施し、認識を深めた【東区健康まちづくり推進員協議会】	

2. 令和5年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	熊本市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、高齢者の健康を支援している。
	高齢者の転倒・骨折を予防するため、自宅でも取り組める運動や口腔、栄養に関する情報を掲載した「目標到タツ！運動手帖-転倒・骨折予防編-」を作成し、配布した。
	ロアツ熊本の選手が実践しているトレーニングを参考に、65歳以上でも取り組める運動プログラムを開発し、同プログラムを活用した健康教室を公民館等で開催した。(参加数:493名)
	介護予防の普及・啓発を行い、地域ニーズに応じた健康づくり・介護予防を推進する「介護予防サポーター」を養成し、その活動を支援した。(サポーター数:340名(令和6年3月31日時点))
	高齢者サロン等で、介護予防・ロコモ等の健康教育を実施
	ロコモ予防教室の実施(骨密度測定、医師、保健師、管理栄養士による講話)
	河内・芳野校区のローソン移動販売車にたんぱく質摂取を促す啓発ステッカーを貼り、高齢者の低栄養予防の啓発を実施。
	北区役所庁舎に来庁される高齢者の健康づくりのため、階段利用促進の啓発資料を掲示し、楽しく使用しなくなるような階段にした。
出前講座にて、フレイル予防や骨粗しょう症予防のための食事について啓発を行った。	
施策2	熊本市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、介護予防を支援している。
	身近な多場所で運動を取り入れた活動に住民主体で取り組む「くまもと元気くらぶ」の新規立ち上げや活動費を支援した。(くまもと元気くらぶ団体数:70団体(令和6年3月31日時点))
	介護予防に継続的に取り組む住民主体の通いの場にリハビリ専門職を派遣し、活動がより効果的になるよう支援した。
	運動機能や口腔機能、栄養状態の低下等が認められた方に対し、リハビリ専門職等による支援を3か月間集中的に実施し、身体機能等の維持・改善を図った。(R5年度利用者:延べ379人)
	校区民生委員児童委員協議会定例会等の会議、校区単位の健康まちづくりの取組等を通して、要介護状態にならないための生活習慣病予防について啓発。
施策3	熊本市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、認知症への理解促進を支援している。
	集合形式やオンライン形式による認知症サポーター養成講座を開催し、7,315人の認知症サポーターを養成するとともに、チームオレンジの立ち上げ(3団体)を支援した。
	「認知症の人と家族の会」に認知症コールセンターの運營業務を委託し、認知症の人や家族からの相談を受け付けた。(R5年度:1,214件うち熊本市:702件)
	熊本県と共同で、熊本県内の医師・歯科医師・薬剤師を対象とした認知症対応力向上研修を開催し、認知症の方が地域で必要な医療を受け、その地域で暮らし続けられるよう支援した。

(参考) 感染症に配慮した取り組みの実績

<p>感染症に配慮した取り組み内容 ※再掲</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスクを着用している方は、口腔の運動はマスクの中でする、口腔体操をする時には、できるだけ喋らないなどの対策をされていた。【中央区代表】</li> <li>・手洗いチェッカーにより実際に確認の手洗い不備を認識【東区健康まちづくり推進員協議会】</li> <li>・安否確認で戸別訪問を行った。【熊本市農業協同組合】</li> <li>・オンライン形式による認知症サポーター養成講座を引き続き開催した。【行政】</li> </ul>
-------------------------------	--

### 3 健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目		(1) 栄養・食生活					
指標項目	24	適正体重を維持している者の増加 (40歳～60歳代男性・女性の肥満者の割合の減少)	基準値		実績値	目標値	
			H23		R5	H34	
			男性	31.7%	37.7%	28.0%	
				女性	17.7%	19.9%	14.0%
	25	健全な食生活が実践できる市民の割合	基準値		実績値	目標値	
			H24		R5	R5	
			54.8%		42.8%	79.0%	
	26	共食の増加 (食事を1人で食べる子どもの割合の減少)	基準値		実績値	目標値	
			H24		R5	R5	
			朝食	小学生	16.7%	22.9%	減少傾向へ
				中学生	24.3%	39.2%	減少傾向へ
			夕食	小学生	5.2%	6.2%	減少傾向へ
	中学生	11.1%		10.0%	減少傾向へ		
27	20、30代男性の1週間あたりの朝食の欠食率の減少	基準値		実績値	目標値		
		H24		R5	R5		
		20歳代	29.4%	23.1%	15.0%		
		30歳代	29.4%	20.3%	15.0%		
取り組み施策		概要					
施策1	食育への理解と食育活動の実践	広く市民を対象とした食育事業の取り組みを継続するとともに、ターゲットを絞った食生活改善のための講座を関係団体と連携を図りながら推進する。					
施策2	食育活動の実践のための食環境整備	栄養成分表示や減塩食普及などのヘルシーメニューを提供して市民の健康づくりを応援する飲食店等の増加に努め、食の環境整備を図る。					

#### 1. 令和5年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	保育所等の関係者を対象とした「尚綱乳幼児食育研究会」を5回開催した。1月には、尚綱食育推進シンポジウムを開催し、約150名の参加があった。【尚綱大学】
	天草地区漁業士会と連携した尚綱食育の日「お魚の日」を開催し、鯛めし等を学食で提供や魚食に関するアンケートを実施した。【尚綱大学】
	学生を対象とした「尚綱ガールズ 鯛レシピコンテスト」を実施した。【尚綱大学】
	加盟園保育関係者対象の「食育・アレルギー対応」分野のキャリアアップ研修の実施【熊本市保育園連盟】
	保育士会・給食部会による食育関連の合同研修会、各ブロック単位(東部・西部・南部・北部・中央)での研修会実施【熊本市保育園連盟】
	ボディビルダーでパーソナルコーチの元田雄己氏による勉強会「あ、そうだ。朝ご飯を食べよう」を城南小で開催。体を作る上で大切な食事、特に子どもの体の成長の上で欠かせない朝ごはんについて、メニューや食べ方、食べたくなるコツなどを学んだ。【熊本市PTA協議会】
	「家族」、そして「お隣さん、お向かいさんへ」を活動の基本に、全ての年代の食の通しての健康づくりを、声掛けやお話し、調理実習等で推進した。【熊本市食生活改善推進員協議会】
子ども食堂へ野菜の提供を行った。【熊本市農業協同組合】	

2. 令和5年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	熊本市立保育園給食を食育媒体とした年齢・発達に応じた食育活動を年間を通じて実施。
	「食育だより」等による健全な食生活・乳幼児期の食育等に関する保護者への啓発を実施(食育だより発行:年13回)
	和食の日(11月24日)に合わせた、「だしで味わう和食の日」の取組として、和食メニューの提供、だしの飲み比べや鰹節削り体験等を実施
	離乳食のすすめ方について、東区のホームページに掲載し、離乳食レシピや離乳食に関するQ&Aなどより実践的な情報提供を行った。
	郷土料理のレシピを東区ホームページ及び熊本市公式YouTubeにて発信し情報提供を行った。
	食育月間で、崇城大学や区役所内、西部公民館において食育啓発のパネル展示及びレシピを配付。崇城大学では食育月間のイベントで、野菜ばかりを実施し、若者に野菜摂取の啓発を実施した。
	西区管内の図書館(室)と連携して、食育月間(6月)と野菜(8月)をテーマにした企画展を開催し、市民への啓発を実施。
	西区フェスタにおいて、地域住民に対し、食事のバランスや減塩、野菜摂取について啓発を実施。
	千原台高校、熊本市立総合ビジネス専門学校の学生を対象に、郷土料理への関心を高めるため、郷土料理の調理実習及び講話を実施。
	防災食育として地域の子育てサークルや保育園、民生委員等に対し、バッククッキングの調理実習やデモンストレーション、備蓄についての啓発を実施。
	北区の子どもの食育推進ネットワークで作成した「簡単にできる朝食レシピ」を関係機関に配布し、朝食の大切さを含めた啓発を行った。
	食育月間に区役所ロビーにてパネル展示やレシピの配布等を行った。
	北区管内の図書館(室)と連携して、食育月間(6月)と野菜(8月)をテーマにした企画展を開催した。
	北区で作成した野菜摂取促進ポスターを管内の各種団体で掲示してもらい啓発を図った。特に保育園等で行うことで働き盛り世代への啓発につながった。
	幼児健診時、保護者向けに朝食の大切さとバランスの良い食事、カルシウムの摂取についてのチラシ、栄養成分表示の見方のチラシを配布し啓発を行っている
	「熊本市北区発！農家めしプロジェクト」として、北区の農家の方に野菜レシピを紹介してもらい北東部農業振興センター、植木まちづくりセンターと連携し野菜の普及及び摂取促進の啓発を図った。
	小学生向けに、小学校・野菜ソムリエ・北東部農業振興センターと連携し、北区の野菜の周知及び摂取促進の啓発を行った。
	乳児のための食育講座:育児サークルや子育て支援センター等で、離乳食の進め方等について講話を実施した。(90回810人)
	幼児のための食育講座:育児サークルや子育て支援センター等で、幼児期の食生活やおやつとの与え方について講話を実施(16回117人)
	大学生のための食育実践講座:食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施(11回445人)
すこやか食生活改善講習会:生活習慣病予防を中心として献立の普及を、調理実習を通じて、92小学校校区で実施するための支援を実施(92校区 地域住民1,308人参加)	
食事バランスガイドの啓発:講座等において、食事バランスガイドの啓発を行い、食事の組み合わせと日本型食生活の定着を図った。(啓発数2,010人)	

施策1	食育月間等における啓発:6月の「食育月間」や毎月19日の「食育の日」にパネル展示や資料及び食育月間啓発チラシ等の配布での啓発を行い、広く市民に食育を周知し機運の醸成を図った。
	ホームページ「くまもとの食」での情報提供:食の安全安心と食育についての情報提供を実施。(HPアクセス数100,593人)
	乳幼児期の生活リズム確立のための支援として、「はやね・はやおき・朝ごはんカード」を用いた、家庭での生活リズムと朝食習慣の確立のための支援(配付数7,341枚)
	家庭の食事に郷土料理を取り入れている市民の増加を目指し、郷土料理レシピ集「熊本のごはん」の普及、啓発を図るための調理実習を実施した。(10回185人)
施策2	幼児健診や健康教育で、栄養成分表示の活用法など、チラシを活用し普及啓発を実施。
	管内のスーパーマーケットに対し、野菜摂取のポスター及びレシピ等を配付し、買い物客への野菜摂取の啓発を実施。
	栄養成分表示の啓発:1歳半健康診査や3歳児健康診査に来所した保護者に対して、食事バランスガイドや栄養成分表示のチラシを配付し、望ましい食生活について啓発。
	6月の食育月間を中心に、市内スーパーや青果物販売店の協力を得て、「もっと健康! やさいアップくまもと」事業としてポスター掲示、レシピ配付等の事業を実施。(219事業者の協力)
	熊本市こどもの食育推進ネットワーク:こどもの食育を推進するため、関係機関によるネットワークを構築し、連携を図りながら食育推進運動を展開(加入団体427団体)
熊本市こどもの食育推進ネットワーク全体研修会:「こどもの誤嚥とその予防策について」の演題で、講演会をオンラインで開催。(202施設、315人参加)。2回目は熊本市食生活改善推進員協議会と中央区保健子ども課からの活動事例報告と意見交換をオンラインで開催。(95施設、147人参加)	
熊本市こどもの食育推進ネットワーク地域研修会:区毎に、地域での食育活動の活発化のため、メンバーの連携強化と、情報交換、資質向上のための地域研修会を開催。(15回408人)	

### 3 健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目		(2) 身体活動・運動					
指標項目	28	日常生活における歩数の増加	基準値		実績値	目標値	
			H27		R5	R5	
			20歳 ~ 64歳	男性	8,262歩	8,327歩	9,000歩
				女性	8,058歩	5,768歩	9,500歩
			65歳 以上	男性	6,859歩	7,569歩	7,000歩
				女性	7,053歩	5,396歩	9,000歩
29	1回30分以上の運動(ウォーキング等)を週1回程度以上している市民の割合	基準値		実績値	目標値		
		H24		R5	R5		
		52.7%		39.4%	62.0%		
取り組み施策		概要					
施策1	運動習慣の定着化に向けた取り組みの推進	生活習慣病予防や健康増進のため、市民の運動習慣の定着を図る。					
施策2	運動に組みやすい環境づくり	市民の健康増進のために運動に組みやすい環境づくりを行う。					

#### 1. 令和5年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	協会会員の健康支援を目的とし福利厚生として熊本市内スポーツクラブと提携し運動を進めており、R3.10から健康支援プログラムのオンライン配信【熊本県看護協会】
	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	運動指導士による健康づくりのための運動に関する研修会、情報提供を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	運動機会の充実のための、市民総参加型の熊本市民スポーツフェスタを開催している。【熊本市スポーツ推進委員協議会】
	熊本健康アプリの啓発を行い、必要時はダウンロード後の使用の仕方を説明し、運動の意欲向上に繋がるように取り組んだ。【中央区代表】
施策2	地域における健康増進のための環境づくりを推進するスポーツ推進員の資質向上のため、年一回研修会を開催している。【熊本市スポーツ推進委員協議会】

#### 2. 令和5年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	運動機会の充実のため、市民総参加型の熊本市民スポーツフェスタを開催している。
	地域の会議や健康教育などを通し、身体活動(生活活動、運動)や熊本健康アプリ等についての普及啓発
	すこやかくまもと栄養セミナー(食生活改善推進員養成講座)にて、健康運動指導士による運動についての啓発を行った。
	運動に対する正しい知識を身に付けてもらうため、親子・3世代向けのウォーキング教室を開催した。

施策2	地域における健康増進のための環境づくりを推進するスポーツ推進員の資質向上のため、年一回研修会を開催している。
	健康ポイント事業を共同運用する連携市町村が2自治体増え、計16市町村で運用した。新たに、地域と連携したGPSによるスタンプラリーや新規の抽選会等を実施し、新規利用者の増加及び楽しみながら利用継続できるようアプリの機能改修や企画イベントの実施、地元特産品を賞品とするなどインセンティブの充実に取り組んだ。
	市民が身近な場所で気軽に運動に取り組めるよう、メディカルフィットネス施設・スポーツクラブ等を記載した「くまもと運動資源マップ」を作成し、熊本市医師会会員へ配布した。

(参考) 感染症に配慮した取り組みの実績

感染症に配慮した の取り組み内容 ※再掲	・各種大会を開催するにあたり検温や手指消毒、密を回避するような運営方法など感染症対策を行っている。【熊本市スポーツ推進委員協議会】
----------------------------	---

### 3 健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目	(3) 休養					
指標項目	13	睡眠を十分にとっている市民の割合	基準値	実績値	目標値	
			H24	R5	R5	
				53.3%	47.5%	68.7%
	14	ストレスをためないよう気分転換を図っている市民の割合	基準値	基準値	目標値	
H24			R5	R5		
			51.1%	42.5%	65.7%	
取り組み施策	概 要					
施策1	「睡眠」の重要性の理解と実践	市民に睡眠や休養の重要性について正しい理解の普及啓発を図るとともに、職域保健と連携し、睡眠や休養に関する取り組みを推進する。				
施策2	休養がとれるための環境づくり	市民に休養のとり方やストレス対処法などについて情報提供を行うとともに、市民が悩みを相談できる環境整備を行う。				

#### 1. 令和5年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
施策2	事業場を対象に個別訪問しメンタルヘルス教育を実施。ホームページやメールマガジンにて、ストレス対処法等の情報提供を実施。【熊本産業保健総合支援センター】

#### 2. 令和5年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	睡眠に関するパンフレットをホームページに掲載。
施策2	メンタルヘルスに関することについて電話相談(延8,341件)、来所相談(延393件)を実施した。

### 3 健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目		(4) 飲酒					
指標項目	30	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(男性は清酒換算2合以上、女性は清酒換算1合以上の者)の割合の減少	基準値		実績値	目標値	
			H23		R4	R5	
			男性	14.0%	14.3% (法定報告値)	11.7%	
	女性	8.9%	14.0% (法定報告値)	7.8%			
	31	未成年者の飲酒をなくす 国参考値	基準値		実績値	目標値	
			H22		R3	H34	
			中学3年生	男子	10.5%	1.7%	0%
				女子	11.7%	2.7%	0%
			高校3年生	男子	21.7%	4.3%	0%
	女子	19.9%		2.9%	0%		
32	妊娠中の飲酒をなくす	基準値		実績値	目標値		
		H24		R5	R5		
		3.7%		1.76%	0%		
取り組み施策		概要					
施策1	適正飲酒の普及啓発	市民に飲酒に関する情報提供を行い、適正飲酒の普及啓発を図る。					
施策2	未成年者への情報提供	市民や教育機関等と連携し、未成年者の飲酒防止を推進する。					
施策3	妊娠中や授乳中の飲酒の防止	市民に妊娠中や授乳中の飲酒について情報提供を行い、正しい理解の普及啓発を行う。					

#### 1. 令和5年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	加入者に特定保健指導を実施する中で、飲酒にかかる指導・情報提供を行った。【全国健康保険協会熊本支部】
	高齢と障がいのネットワーク会の中で、地域住民も含めて、「アルコール依存について」の研修会を1回開催した。【中央区代表】
施策2	学校薬剤師が各担当校にて薬物乱用防止教育の一環として、未成年者の飲酒についての講演を行っている。【熊本市薬剤師会】

#### 2. 令和5年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	飲酒を含む依存症に対する普及啓発として、パンフレットの配布やホームページに掲載。また、市民向け講演会としてこころの健康づくり講演会(1回 参加者19人)、家族や当事者支援として、依存症家族教室(24回 参加者延166人)や依存症当事者グループプログラム(24回 参加者延56人)を実施。
	校区民生委員児童委員協議会定例会、自治協議会などで飲酒に関する情報提供を実施。
	小・中学校、高等学校の薬物乱用防止教室の中で、未成年の飲酒の危険性、適正飲酒について情報提供・普及啓発を実施(4回 参加者延510人)。

施策2	未成年の喫煙、飲酒の影響を考える機会として健康教育を実施した。
	中学生を対象とした妊婦子育て講演会において、妊娠中や授乳中の飲酒の害について情報提供を行った。
施策3	親子(母子)健康手帳交付時や訪問等の際に、妊娠中や授乳中の飲酒を行わないよう保健指導を実施

(参考) **感染症**に配慮した取り組みの実績

感染症に配慮した の取り組み内容 ※再掲	・学校薬剤師が各担当校の依頼にて、感染防止のための消毒、マスク、換気、うがいについて相談を受け、助言を行っている。また換気状況を把握するため、各学校にてCO <sub>2</sub> 濃度を測定し、換気の推進を行っている。【熊本市薬剤師会】
----------------------------	--

### 3 健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目		(5)喫煙				
指標項目	33	「たばこを吸わない」と答える市民の数を増やす	基準値		実績値	目標値
			H24		R5	R5
			70.7%		68.6%	増加傾向
	34	COPDの認知度の向上	基準値		実績値	目標値
			H27		R5	R5
			58.8%		59.4%	80.0%
	35	受動喫煙(家庭・職場・飲食店・行政機関・医療機関)の機会を有する者の割合の減少	基準値		実績値	目標値
			H27		R5	R5
			行政機関	7.7%	6.9%	0%
			医療機関	6.3%	19.2%	0%
			職場	30.2%	25.1%	受動喫煙のない職場の実現
			家庭	23.6%	3.8%	3.0%
	36	妊娠中の喫煙をなくす	基準値		実績値	目標値
			H23		R5	R5
			5.5%		2.7%	0%
	37	未成年者の喫煙をなくす	基準値		実績値	目標値
			H22		R3	R5
国参考値			男子	1.6%	0.4%	0%
			女子	0.9%	0.1%	0%
中学1年生 高校3年生			男子	8.6%	1.0%	0%
	女子	3.8%	0.6%	0%		
取り組み施策		概要				
施策1	禁煙の支援	イベントや学校、職場等においてたばこの害についての啓発を進めるとともに、禁煙の指導を受けることのできる場所や相談先の情報提供を行い、禁煙の支援を行う。				
施策2	受動喫煙防止	行政施設、事業所等での禁煙を進めるとともに、幼児健診等の場を活用し、家庭での禁煙・分煙等の啓発を行う等、受動喫煙防止に取り組む。				
施策3	妊娠中・授乳中～未成年の喫煙防止	妊娠中、授乳中の女性や同居家族の喫煙が子どもに及ぼす影響について、親子(母子)健康手帳交付時に知識の普及に努めるとともに、学校における喫煙防止教育を推進する。				

#### 1. 令和5年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	喫煙と歯周病との関連を啓発。歯周病治療への取り組み【熊本市歯科医師会】
	研修会を開催し、禁煙指導薬剤師を養成、継続研修も行っている。【熊本市薬剤師会】
	熊本シティエフエム放送健康サロンにて、「COPD(慢性閉塞性肺疾患)」のテーマでアナウンスした(R5.11.15)【熊本県看護協会】
	県歯科医師会と連携、協会けんぽスモールチェンジ生活支援プログラムにおいて、歯周病の最大のリスク因子である喫煙について、生活習慣病予防を目的とした歯科保健指導のなかで、禁煙指導を実施。【熊本県歯科衛生士会】
	加入者に特定保健指導を実施する中で、喫煙にかかる指導・情報提供を行った。【全国健康保険協会熊本支部】
事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】	

施策1	熊本県(脳卒中・心臓病等総合支援センター)との共催で企業向けセミナーを実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に、喫煙の健康影響と禁煙支援、COPDの啓発等の研修を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
施策3	学校薬剤師が各担当校にて薬物乱用防止教育の一環として、未成年者の喫煙防止教育を行っている。【熊本市薬剤師会】

## 2. 令和5年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	サロン等でCOPD・喫煙の啓発。
	地域の会議等を通して禁煙について啓発した。
	世界禁煙デーに合わせ、禁煙手帳や健康ポイントによる禁煙チャレンジを周知した。
	熊本市薬剤師会の協力のもと、禁煙支援薬局における相談受付を開始し、ホームページにて周知した。
	たばこの健康影響や、受動喫煙の問題、禁煙外来の活用についてホームページにて周知した。
施策2	受動喫煙対策が講じられた分煙施設を設置する民間企業に対し、設置費助成を行った。
	幼児健診等の場を活用し、幼児へのタバコの影響について啓発を実施。家庭での禁煙・分煙の啓発を行った。
	新規開業した飲食店向けに受動喫煙防止対策に関する調査を実施し、受動喫煙防止対策パンフレットも送付した。
	受動喫煙防止対策専用コールセンターにて、受動喫煙に関する相談を受け付けた。
施策3	親子(母子)健康手帳交付時に胎児や母乳への影響についての資料を配布し、保健指導を行う。
	結婚・子育て応援サイトのQ&Aに妊娠期の過ごし方や健康管理について情報掲載。
	未成年の喫煙、飲酒の影響を考える機会として健康教育を実施した。(中学校1校 163名 )
	親子(母子)健康手帳交付時や訪問等の際に、喫煙の及ぼす影響について保健指導を実施
	親子(母子)健康手帳交付時、妊婦やその家族に喫煙者がいる場合、禁煙手帳を配布。
	中学生を対象とした妊婦子育て講演会において、妊娠中、授乳中の女性や同居家族の喫煙が子どもに及ぼす影響について情報提供を行った。(西区:1回)
	子どもや病気の人など配慮が必要な人が近くにいる場所では、喫煙しないようホームページにて周知した。

### 3 健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目		(6) 歯・口腔の健康				
指標項目	38	3歳児でむし歯のない者の増加	基準値	実績値	目標値	
			H23	R5	R5	
				76.3%	89.8%	90.0%
	39	12歳児でむし歯のない者の増加(中学1年生) ※1人あたりのむし歯本数	基準値	実績値	目標値	
			H23	R5	R5	
				1.29本	0.63本	0.7本未満
	40	20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の減少	基準値	実績値	目標値	
			H22	R5	R5	
				38.0%	83.3%	25.0%
	41	60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の増加	基準値	実績値	目標値	
H23			R5	R5		
			63.9%	81.8%	80.0%	
42	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者(8020達成)の増加	基準値	実績値	目標値		
		H23	R5	R5		
			38.3%	35.1%	65.0%	
取り組み施策		概要				
施策1	子どものむし歯や歯肉炎の予防	乳幼児健診、相談、健康教育でむし歯や歯肉炎予防、生活習慣の情報提供の充実。				
施策2	歯周疾患の予防	20歳以上の年代に歯周病と低出生体重児等との関わりや口腔疾患が生活習慣病であることの周知に努め、歯科健診の啓発を図る。				
施策3	歯の喪失防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8020運動を目指すためにも、60歳代における咀嚼良好者の増加を目指す。</li> <li>・大学生等に対する歯周病対策を行うことで、8020の達成を図る</li> </ul>				

#### 1. 令和5年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	フッ化物塗布事業への協力。【熊本市歯科医師会】
	学校薬剤師が各担当校にてフッ化物洗口にての相談、助言を行っている。【熊本市薬剤師会】
	特別活動の学級活動において、むし歯予防や歯周病予防等についての学習を行った。担任と養護教諭が連携して授業を実施し、児童の理解を深めた。また、3年生以上の体育科保健領域において、むし歯予防や歯周病予防等を含め、健康や安全に関する内容を学年に応じて学習した。【熊本市小学校校長会】
	定期健康診断における歯科検診を確実に実施した。【熊本市小学校校長会】
	新型コロナウイルス感染症の5類移行後にフッ化物洗口を再開した学校が増えた。【熊本市小学校校長会】
	「おやつレシピ」の普及を行い、むし歯予防のためのおやつづくりの啓発を行った。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	ショッピングモールにて、むし歯予防や歯肉炎予防についてリーフレットや歯ブラシを用いての啓発活動を行った。【熊本市8020健康づくりの会】
	小学校におけるフッ化物洗口の取り組みに協力し、学童期におけるむし歯予防の推進を図った。【熊本市8020健康づくりの会】
	こどものむし歯予防啓発のために、こども文化会館での保護者とこどもに向けた啓発活動を行う。【熊本市8020健康づくりの会】
5年生は「全国小学生歯みがき大会」への参加を推進し、歯みがきの大切さについての学習を行った。【熊本市小学校校長会】	

施策1	学校歯科医や歯科衛生士、各区保健子ども課や各校区の8020推進員の方々と連携した歯科保健指導の実施を推進した。【熊本市小学校校長会】
施策2	各薬局にて処方医薬品の歯への副作用の有無を聞き取り、歯科受診を勧めた。【熊本市薬剤師会】
	「いい歯の日」に合わせた市役所ロビーでのパネル展示会場にて、推進員が来庁者へ歯と口の健康づくりに関する情報提供や歯科健診の重要性の啓発に努めた。【熊本市8020健康づくりの会】
	地域や職場における歯と口の健康づくりに関する情報などの提供を行った。【熊本市8020健康づくりの会】
施策3	節目年齢歯科検診事業、後期高齢者歯科口腔検診への協力【熊本市歯科医師会】
	8020運動を目指すために、幅広い年齢層に向けての啓発に活用できる新たなリーフレットを作成した。【熊本市8020健康づくりの会】
	噛むことの大切さを伝えるための講演会動画を用いて、市民に対する歯科啓発を行った。【熊本市8020健康づくりの会】

## 2. 令和5年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査において歯科健診・歯科健康相談を実施し、希望者に対してフッ化物塗布を実施した。(塗布人数:1歳6か月児5,197人、3歳児4,485人)
	11月から1歳児・2歳児・2歳6か月児を対象に委託によるこどものフッ化物塗布を開始し定期的にフッ化物塗布を受けられる環境を整備した。(塗布人数:1歳児557人、2歳児545人、2歳6か月児525人)
	障がい児または発達に不安のある児を対象に、むし歯予防事業として各区役所において歯っぴー事業を実施した。(実施人数延81人)
施策2	企業等の従事者(働き世代)を対象に口腔ケア及び生活習慣病等に関する啓発事業(講話、歯磨き指導等)を実施。10月10日城南学園職員31名、富合小1年保護者33名、富合商工会青年部9名を対象に開催。(南区)
	年度内に40歳・50歳・60歳・70歳を迎える市民に対して節目年齢歯科健診を実施した(受診率7.29%)。令和5年度から全対象者に個別勧奨通知を発送し、受診率向上を図った(前年度受診率1.33%)。
	妊産婦健康相談時に歯周病によって早産・低出生体重児出産のリスクが高まることを伝え、妊娠期の歯科健診の受診勧奨を実施した(571回、2360人)
施策3	満80歳以上で自分の歯を20本以上有する8020達成者を表彰した(被表彰者84人)。
	大学の文化祭及び区役所で実施する臨地実習において歯科健診、歯科相談及び啓発を実施した。(実施人数98人)

### (参考) 感染症に配慮した取り組みの実績

感染症に配慮した取り組み内容 ※再掲	・会で作成した歯科情報QRコード記載の歯科啓発リーフレットを活用し、コロナ禍でも歯と口の健康づくりに関する情報提供の充実が図れるような取り組みを行った。【熊本市8020健康づくりの会】
-----------------------	--

#### 4 健康を支え、守るための社会環境の整備

取り組み項目	(1)小学校区単位の健康まちづくり				
指標項目	43	市民と協働で健康をテーマとしたまちづくりを実施する校区の増加	基準値	実績値	目標値
			H23	R5	R5
			6校区	69校区	92校区
取り組み施策	概 要				
施策1	市民・関係機関・行政との協働による健康まちづくりの推進	小学校区を単位とし、校区の健康課題や健康づくりの目標を市民と共有しながら、校区の特性に応じた健康をテーマとしたまちづくりの取り組みを推進するとともに、生活習慣が形成される時期に展開される学校保健との連携に努め、健康課題解決に向けた取組みを推進する。			

##### 1. 令和5年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	要請があれば、歯科健康講座等への講師派遣【熊本市歯科医師会】
	東区の健軍健康フェスタに参加し、薬剤師会ブースにてお薬相談を受けている。【熊本市薬剤師会】
	スポーツを通して親子をはじめとする家族のふれあい及び地域住民の交流を推進している【熊本市スポーツ推進委員協議会】
	熊本市生涯スポーツの振興を図るために親子スポーツ大会を実施している【熊本市スポーツ推進委員協議会】
	校区で実施される健康まちづくりのイベントに協力した。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	「あぐりキッズスクール」を開催し、小学生と保護者を対象に農や食の大切さを体験してもらった。【熊本市農業協同組合】

## 2. 令和5年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	校区ごとの健康づくりの取り組みを行った。(中央区15回)
	健康まちづくり委員会をはじめ、校区自治協議会・民生児童委員協議会等地域組織および関係機関と校区健康カルテ等用いて校区の健康課題を共有した。
	健康まちづくり推進員協議会の活動支援(地域における健康づくり活動の支援、活動PR等)
	校区自治協議会を母体とした「健康づくりを考える組織」と連携しながら推進 健康づくり部会等地域組織へ校区カルテ・KDBシステム等を活用して健康に関するデータや健康課題を共有し、活動の方向性を話しあった。(個別訪問を含む)(西区 81回) 地域組織が開催するイベント時に健康チェックや啓発活動の協力を行った(18回 924人)
	若い世代をターゲットに西区健康センター来所者に西区の健康課題や健康情報の発信を行い、健康意識の醸成を図っている。
	福祉課主催の西区地域包括ケアシステムのアクションプラン作成に向けた各包括圏域毎の会議に参加し、関係機関と地域の健康課題等の情報交換を行った。
	南区健康まちづくり事業推進プロジェクト会議2回、6つのまちづくりセンター単位の活動推進チーム会議14回、健康まちづくり職員研修(集合形式)を実施し29人が参加。関係機関との会議等89回実施し、地域組織との協働による取組み41回。
	北区の健康課題を分析し、今後の目標も含め、報告会で地域の方々に説明し周知した。
	令和6年度の校区単位の健康まちづくり(第2期)のスタートに向け、各区の活動方針を改定した。
	関係職員の知識向上のため、職員向け研修会を開催した。

(参考) 感染症に配慮した取り組みの実績

感染症に配慮した の取り組み内容 ※再掲	・各種大会を開催するにあたり検温や手指消毒、密を回避するような運営方法など感染症対策を行っている。【熊本市スポーツ推進委員協議会】
----------------------------	---

#### 4 健康を支え、守るための社会環境の整備

取り組み項目		(2) 健康づくりを支えるボランティアの育成・支援			
指標項目	44	健康づくり推進に関するボランティア数等の増加	基準値	実績値	目標値
			H24	R5	R5
	45	過去1年間に地域活動に参加した市民の割合 (参加したことがある)	基準値	実績値	目標値
			H24	R5	R5
取り組み施策		概要			
施策1	ボランティアの育成・支援	食生活改善推進員や8020推進員などの健康づくりに関するボランティア養成や活動支援に努めるとともに、「校区単位の健康まちづくり」を推進する部会を設置する等、組織化を図っていく。			
施策2	ボランティア支援体制の充実等	ボランティア活動に関する情報発信の場の提供など継続した活動を支援し、「健康づくり熊本市民応援団」や地区住民会議の取り組みを支援する。			

##### 1. 令和5年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	食生活改善推進員養成講座の受講生の開拓や、養成講座での活動の実際のお話やグループワークに参加し、行政が行う養成講座に協力した。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	行政が開催される、食生活改善推進員の研修会等に参加し、推進員がそれぞれ自己研鑽に励んだ。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	コロナ禍による協議員の士気を低下させないため、イベント等で体操や体力測定等を行い楽しい生活と生きがいを実感してもらった【東区健康まちづくり推進員協議会】
施策2	熊本城マラソンのボランティアとしての活動【熊本市スポーツ推進委員協議会】
	熊本城マラソンで「おもてなし隊」として完走したランナーへ味噌汁の配布。【熊本市農業協同組合】

2. 令和5年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	熊本市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、ボランティア活動を支援している。
	介護予防の普及・啓発を行い、地域ニーズに応じた健康づくり・介護予防を推進する「介護予防サポーター」を養成し、その活動を支援した。(サポーター数:340名(令和6年3月31日時点))
	8020推進員育成講座を5区役所で開催し、107人が修了した。
	食生活改善推進員養成講座(すこやかくまもと栄養セミナー):食を通した健康づくりのボランティア「食生活改善推進員」の養成。(修了者66人)
	食生活改善推進員研修会:ボランティア活動に生かすための知識と技術を習得するため研修会を実施した。(46回、1,394人)
施策2	介護予防サポーターを対象に、転倒防止や関節ケア等に関する講座を開催し、スキルアップを支援した。(受講者数:23名)
	食生活改善推進員、8020推進員それぞれの協議会の運営、定例会の開催を支援した。
	健康まちづくり推進員協議会の活動支援(地域における健康づくり活動の支援、活動PR等)
	熊本市8020健康づくりの会活動支援:推進員が自主的かつ円滑に活動できるように、会議等での助言や、相談支援等を行った。(会員数497人、支援回数延べ1,762回)
	食生活改善推進員活動支援:推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行った。(会員数492人、支援延べ3,917回)

(参考) 感染症に配慮した取り組みの実績

感染症に配慮したの取り組み内容 ※再掲	・各種大会を開催するにあたり検温や手指消毒、密を回避するような運営方法など感染症対策を行っている。【熊本市スポーツ推進委員協議会】
------------------------	---

#### 4 健康を支え、守るための社会環境の整備

取り組み項目	(3)企業・大学等の健康づくり活動の促進				
指標項目	46	健康づくりできます店の登録数の増加	基準値	実績値	目標値
			H23	R5	R5
			109店	219店	250店
取り組み施策	概 要				
施策1	職場における健康づくり	職域保健や企業と連携し、職場における健康づくりを推進する。			
施策2	産学公民の連携による健康づくり	大学や企業等と連携し、市民が健康づくりしやすい環境整備を図る。			

##### 1. 令和5年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	要請があれば、検診等への協力【熊本市歯科医師会】
	事業所が健康経営に取り組むことを宣言する「ヘルスター健康宣言」事業を推進。5年度末で宣言を行った事業所数は約3,000事業所。【全国健康保険協会熊本支部】
施策2	健診結果及び問診結果等を、事業所ごとに集計し見える化した「事業所カルテ」の展開。【全国健康保険協会熊本支部】
	大学の学食での食育イベント(野菜計り)等を開催し、若い世代へ食育の重要性を啓発した。【熊本市食生活改善推進員協議会】

##### 2. 令和5年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	17社のがん対策企業等連携協定締結企業において、企業等の従業員及びその家族へのがん予防及びがん検診の情報提供を実施。
	働き盛り世代が、自身の健康状態や食生活の問題点に自らが気づき、改善の必要性を認識し行動に移すための「働き盛り世代のための食育実践講座」を実施した。(7件)
施策2	イオンでの健康測定会の実施(R5.8.26 114人)
	花王によるプレパママ教室の実施(R5.9.3 34名)
	食品関連事業者等が実施する食育活動支援事業:市民が食育を実践しやすい環境を整備するため、食品関連事業者に野菜摂取啓発ポスターや野菜レシピの配付、栄養表示の支援を行い、食品関連事業者等が実施する食育活動に必要な技術的支援等を行う。(支援事業者数219件)

1 生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目		(2)身体活動・運動の促進					
指標項目	1	日常生活における歩数の増加 (1日の歩数の平均値)	基準値		実績値	目標値	
			R5		R5	R17	
			20歳 ～ 64歳	男性	8,327 歩	8,327歩	9,000歩
				女性	5,768 歩	5,768歩	6,500歩
			65歳 以上	男性	7,569 歩	7,569歩	8,000歩
				女性	5,396 歩	5,396歩	6,000歩
	2	運動習慣者の増加 (1回30分以上の運動(ウォーキング等)を 週2回程度以上している市民の割合)	基準値		実績値	目標値	
			R5		R5	R17	
			39.4%		39.4%	45.0%	
	3	運動やスポーツを習慣的にしているこどもの 割合の増加 (週に3日以上運動習慣のある小学5年生の割 合)	基準値		実績値	目標値	
R3			R4	R17			
男子			54.0%	59.6%	増加傾向		
		女子	37.0%	40.3%	増加傾向		
取り組み施策		概 要					
施策1	運動習慣の定着 化に向けた取り組み の推進	生活習慣病予防や健康増進のため、市民の運動習慣の定着を図る。					

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	協会会員の健康支援を目的とし福利厚生として熊本市内スポーツクラブと提携し運動を進めており、R3.10から健康支援プログラムのオンライン配信を実施【熊本県看護協会】
	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	運動指導士による健康づくりのための運動に関する研修会、情報提供を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	運動機会の充実のため、市民総参加型の熊本市民スポーツフェスタを開催している。【熊本市スポーツ推進委員協議会】
	地域における健康増進のための環境づくりを推進するスポーツ推進員の資質向上のため、年一回研修会を開催している。【熊本市スポーツ推進委員協議会】
	熊本健康アプリの啓発を行い、必要時はダウンロード後の使用の仕方を説明し、運動の意欲向上に繋がるように取り組んだ。【中央区代表】

2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	マラソンを通じたスポーツ振興と健康づくりに資するため、熊本城マラソンを開催する。
	運動機会の充実のため、市民総参加型の熊本市民スポーツフェスタを開催している。
	地域における健康増進のための環境づくりを推進するスポーツ推進員の資質向上のため、年一回研修会を開催している。
	地域の会議や健康教育などを通し、身体活動(生活活動、運動)や熊本健康アプリ等についての普及啓発
	すこやかくまもと栄養セミナー(食生活改善推進員養成講座)にて、健康運動指導士による運動についての啓発を行った。
	「体を知る日」を実施する際、熊本健康アプリのダウンロードを促し支援した。また、実施日にはミッションポイントをつけた。
	骨粗しょう症予防教室において、骨粗しょう症予防のための運動について運動指導士が啓発した。
	市民が身近な場所で気軽に運動に取り組めるよう、メディカルフィットネス施設・スポーツクラブ等を記載した「くまもと運動資源マップ」を作成し、熊本市医師会会員へ配布した。
	運動に対する正しい知識を身に付けてもらうため、親子・3世代向けのウォーキング教室を開催した。
	熊本健康ポイント事業を共同運用する連携市町村が4自治体増え、計20市町村で運用した。地域と連携したGPSによるスタンプラリーや新規の抽選会等を実施し、新規利用者の増加及び楽しみながら利用継続できるようアプリの機能改修や企画イベントの実施、地元特産品を賞品とするなどインセンティブの充実に取り組んだ。

## 1 生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目		(3) 休養の促進			
指標項目	4	睡眠を十分にとっている市民の割合	基準値	実績値	目標値
			R5	R5	R17
			47.5%	47.5%	68.7%
	5	ストレスをためないよう気分転換を図っている市民の割合	基準値	実績値	目標値
R5			R5	R17	
		42.5%	42.5%	65.7%	
取り組み施策		概要			
施策1	「睡眠」の重要性の理解と実践	市民に睡眠や休養の重要性について正しい理解の普及啓発を図るとともに、職域保健と連携し、睡眠や休養に関する取り組みを推進する。			
施策2	休養がとれるための環境づくり	市民に休養のとり方やストレス対処法などについて情報提供を行うとともに、市民が悩みを相談できる環境整備を行う。			

### 1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
施策2	事業場を対象に個別訪問しメンタルヘルス教育を実施。ホームページやメールマガジンにて、ストレス対処法等の情報提供を実施。【熊本産業保健総合支援センター】

### 2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	睡眠に関するパンフレットをホームページに掲載。
施策2	メンタルヘルスに関することについて電話相談、来所相談を実施した。

# 1 生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目	(4) 飲酒の抑制						
指標項目	6	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の減少 (1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者の割合)	基準値	実績値	目標値		
			R6	R6	R17		
			男性	令和6年度特定健康診査結果により決定 (R7.11月頃確定)		10.0%	
	女性			10.0%			
	7	20歳未満の者の飲酒を <small>なくす</small> 国参考値	基準値	実績値	目標値		
			R3	R3	R17		
			中学3年生	男子	1.7%	1.7%	0%
			女子	2.7%	2.7%	0%	
			高校3年生	男子	4.3%	4.3%	0%
	女子	2.9%	2.9%	0%			
8	妊娠中の飲酒をなくす	基準値	実績値	目標値			
		R4	R5	R17			
		2.5%	1.76%	0%			
取り組み施策	概要						
施策1	相談支援の充実	飲酒量の低減に関する相談支援の充実を図る。					
施策2	適正飲酒の普及啓発	市民に飲酒に関する情報提供を行い、適正飲酒の普及啓発を図る。					
施策3	20歳未満の者への情報提供	市民や教育機関等と連携し、未成年者の飲酒防止教育を推進する。					
施策4	妊娠中や授乳中の飲酒の防止	市民に妊娠中や授乳中の飲酒について情報提供を行い、正しい理解の普及啓発を行う。					

## 1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	加入者に特定保健指導を実施する中で、飲酒にかかる指導・情報提供を行った。【全国健康保険協会熊本支部】
施策2	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
施策3	学校薬剤師が各担当校にて薬物乱用防止教育の一環として、未成年者の飲酒についての講演を行っている。【熊本市薬剤師会】

## 2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	飲酒を含む依存症に対する普及啓発として、パンフレットの配布やホームページに掲載。また、市民向け講演会としてこころの健康づくり講演会、家族や当事者支援として、依存症家族教室や依存症当事者グループプログラムを実施。
施策2	校区民生委員児童委員協議会定例会、自治協議会などで飲酒に関する情報提供を実施。

施策3	未成年の喫煙、飲酒の影響を考える機会として健康教育を実施。
	中学生を対象とした妊婦子育て講演会において、妊娠中や授乳中の飲酒の害について情報提供を行った。
	小・中学校、高等学校の薬物乱用防止教室の中で、未成年の飲酒の危険性、適正飲酒について情報提供・普及啓発を実施。
施策4	親子(母子)健康手帳交付時や訪問等の際に、妊娠中や授乳中の飲酒を行わないよう保健指導を実施

(参考) **感染症**に配慮した取り組み

感染症に配慮した の取り組み内容 ※再掲	・学校薬剤師が各担当校の依頼にて、感染防止のための消毒、マスク、換気、うがいについて相談を受け、助言を行っている。また換気状況を把握するため、各学校にてCO <sub>2</sub> 濃度を測定し、換気の推進を行っている。【熊本市薬剤師会】
----------------------------	--

# 1 生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目		(5)受動喫煙防止と禁煙の支援				
指標項目	9	たばこを吸わない市民を増やす	基準値	実績値	目標値	
			R5	R5	R17	
				68.6%	68.6%	増加傾向
	10	COPDの認知度の向上	基準値	実績値	目標値	
			R5	R5	R17	
				59.4%	59.4%	80.0%
	11	COPDの死亡率の減少	基準値	実績値	目標値	
			R2	R5	R17	
				13.7%	13.7%	10.0%
	12	妊娠中の喫煙をなくす	基準値	実績値	目標値	
			R4	R5	R17	
				2.5%	2.7%	0.0%
	13	20歳未満の者の喫煙をなくす 国参考値	基準値	実績値	目標値	
			R3	R3	R17	
中学1年生			男子	0.1%	0.1%	0%
			女子	0.1%	0.1%	0%
高校3年生			男子	1.0%	1.0%	0%
		女子	0.6%	0.6%	0%	
14	望まない受動喫煙の機会を有する者の減少	基準値	実績値	目標値		
		R5	R5	R17		
		行政機関	6.9%	6.9%	望まない受動喫煙のない社会の実現	
		職場	19.2%	19.2%		
		飲食店	25.1%	25.1%		
		医療機関	3.8%	3.8%		
家庭	17.9%	17.9%				

## 取り組み施策

## 概要

施策1	禁煙の支援	イベントや学校、職場等においてたばこの害についての啓発を進めるとともに、禁煙支援薬局の拡充及び周知を行う。
施策2	妊娠中・授乳中～20歳未満の者の喫煙防止	妊娠中、授乳中の女性や同居家族の喫煙が子どもに及ぼす影響について、親子(母子)健康手帳交付時に知識の普及に努めるとともに、学校における喫煙防止教育を推進する。
施策3	受動喫煙防止	行政施設、事業所等での分煙や禁煙を推進するとともに、家庭での分煙等の普及・啓発を行う等、受動喫煙防止に取り組む。

### 1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

#### 具体的な内容等

施策1	喫煙と歯周病との関連を啓発。歯周病治療への取り組み【熊本市歯科医師会】
	研修会を開催し、禁煙指導薬剤師を養成、継続研修も行っている。【熊本市薬剤師会】
	県歯科医師会と連携、協会けんぽスモールチェンジ生活支援プログラムにおいて、歯周病の最大のリスク因子である喫煙について、生活習慣病予防を目的とした歯科保健指導のなかで、禁煙指導を実施。【熊本県歯科衛生士会】
	加入者に特定保健指導を実施する中で、喫煙にかかる指導・情報提供を行った。【全国健康保険協会熊本支部】

施策1	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	熊本県(脳卒中・心臓病等総合支援センター)との共催で企業向けセミナーを実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に、喫煙の健康影響と禁煙支援、COPDの啓発等の研修を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
施策2	学校薬剤師が各担当校にて薬物乱用防止教育の一環として、未成年者の喫煙防止教育を行っている。【熊本市薬剤師会】

## 2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	サロン等でCOPD・喫煙の啓発。
	地域の会議等を通して禁煙について啓発した。
	世界禁煙デーに合わせ、禁煙手帳や健康ポイントによる禁煙チャレンジを周知した。
	熊本市薬剤師会の協力のもと、禁煙支援薬局における相談受付を開始し、ホームページにて周知した。
	たばこの健康影響や、受動喫煙の問題、禁煙外来の活用についてホームページにて周知した。
施策2	親子(母子)健康手帳交付時に胎児や母乳への影響についての資料を配布し、保健指導を行う。
	結婚・子育て応援サイトのQ&Aに妊娠期の過ごし方や健康管理について情報掲載。
	未成年の喫煙、飲酒の影響を考える機会として健康教育を実施。
	訪問等の際に、喫煙の及ぼす影響について保健指導を実施
	幼児健診等の場を活用し、幼児へのタバコの影響について啓発を実施。家庭での禁煙・分煙の啓発を行った。
親子(母子)健康手帳交付時、妊婦やその家族に喫煙者がいる場合、禁煙手帳を配布。	
施策3	中学生を対象とした妊婦子育て講演会において、妊娠中、授乳中の女性や同居家族の喫煙が子どもに及ぼす影響について情報提供を行った。(西区:1回)
	新規開業した飲食店向けに受動喫煙防止対策に関する調査を実施し、受動喫煙防止対策パンフレットも送付した。
	受動喫煙防止対策専用コールセンターにて、受動喫煙に関する相談を受け付けた。
	子どもや病気の人など配慮が必要な人が近くにいる場所では、喫煙しないようホームページにて周知した。

第3次健康くまもと21基本計画

2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

取り組み項目		(1)がん予防等対策				
指標項目	15	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	基準値	実績値	目標値	
			R2	R2	R17	
				126.4	126.4	減少傾向
	16	がん検診受診率の向上 (市が実施するがん検診のほか、職場検診、人間ドック等を含む)	基準値	実績値	目標値	
			R5	R5	R17	
			肺	24.9%	24.9%	60%
			胃	35.3%	35.3%	60%
大腸			30.1%	30.1%	60%	
乳	55.7%	55.7%	60%			
子宮頸	58.8%	58.8%	60%			
取り組み施策		概要				
施策1	がん予防	がん検診の受診率向上、ワクチン接種の促進や、がんに対する正しい知識の普及啓発を行う。				
施策2	がん医療・がんとの共生	がんに関する治療法についての情報発信や相談支援に取り組む。				

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	口腔癌の啓発と、歯科医院における早期発見への取り組み【熊本市歯科医師会】
	口腔外科疾患に関する歯科医師向けセミナーの開催【熊本市歯科医師会】
	節目年齢歯科検診における対応【熊本市歯科医師会】
	各歯科診療所における軟組織審査の継続【熊本市歯科医師会】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象とした、生活習慣病の予防、禁煙の健康影響に関する研修会を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	健康に関するイベントや高齢者サロン、通いの場等においてがん検診の重要性をパネルを使い啓発する。【東区健康まちづくり推進員協議会】
	熊本市の委託事業として胃、肺、大腸、子宮頸部、乳房の各種がん検診及び胃がんリスク検査(血清ピロリ抗体検査)を実施した。【熊本市医師会】
	受診機会の喪失を防ぐべく、前年度の受診者に対し、受診勧奨ハガキを送付した。【熊本市医師会】
	精検未受診者に対し、精検勧奨ハガキを必要に応じて数回送付し、精検受診率の向上に努めた。【熊本市医師会】
	検診ごとに専門医で構成した委員会を設置し、年に1~2回会議を開催し、検診結果等について協議検討を行い、がん検診受診率の向上および精度管理の向上に努めた。【熊本市医師会】
	胃がん内視鏡検診において、精度管理研修会を開催し、検診結果の分析・検査方法の提示・画像評価・症例検討等を行い、精度管理の向上に努めた。【熊本市医師会】
	熊本市と協力して、幅広い年齢層の受診者を対象にわかりやすいがん啓発情報を発信を行いたい。【熊本市医師会】
	受診機会の喪失を防ぐべく、より効果的な受診勧奨を実施し、受診率向上を目指します。【熊本市医師会】
	「まちの保健室」の活動で、高血圧、糖尿病、心疾患、肥満、喫煙習慣などの生活習慣病予防について情報提供を行い、がん検診受診勧奨を行った。(3か所)【熊本県看護協会】
熊本県総合保健センター主催の「結核・ガン予防キャンペーンヘルシーくまもと」に健康を守る婦人の会で参加。【熊本県歯科衛生士会】	
加入者本人を対象に、特定健診にがん検診項目を加えた「生活習慣病予防健診」を実施する。その他、加入者本人を対象に乳・子宮頸がん検診を実施する。【全国健康保険協会熊本支部】	
講習会等の中で、がん検診受診の啓発を実施。【熊本市食生活改善推進員協議会】	

	労働者数50名未満の事業場を対象に定期健康診断の有所見者に対する医師の面接指導や保健指導等を実施している。【熊本産業保健総合支援センター】
施策2	協議会員定例会時、罹患者の体験談を話してもらい検診の重要性を説明【東区健康まちづくり推進員協議会】
	看護職を対象に、「がん看護の充実～がん薬物療法・放射線療法～」に関する研修会を開催し、患者や家族を支援した(R5.9.13 参加者47名)【熊本県看護協会】

2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	5がん検診の実施及び胃がんリスク検査を実施した。
	がん対策企業等連携協定締結企業と連携し、がん検診パンフレット及び啓発カードを配布した。
	がん検診対象者へ個別受診勧奨はがきを送付した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がん(41歳)、子宮頸がん(21歳)検診無料クーポン券及び検診手帳の送付</li> <li>・退職者世代(62, 66, 68, 70歳)へがん検診のお知らせを送付</li> <li>・胃がんリスク検査対象者の一部の対象者(41・45・49歳)へお知らせを送付</li> <li>・節目年齢の方(40・50・60歳)へ大腸がん郵送検診のお知らせを送付</li> <li>・乳がん(40～60代)、子宮頸がん(20～30代)ハイリスク世代の方へ受診勧奨はがきを送付</li> <li>・乳がん(40～50代)、子宮頸がん(20～30代)ハイリスク世代の方へ再受診勧奨はがきを送付</li> <li>・乳がん、子宮頸がん検診無料クーポン券の再勧奨はがき送付(R6年度から開始)</li> </ul>
	市政だよりやSNS、ラジオ等によりがん検診の受診を啓発した。
	ホームページにて「がんを防ぐための新12か条」を周知した。
	民児協議会、校区社協会議、自治協議会、健康まちづくり推進員会、子育てネットワーク会議、子育てサークル、高齢者サロン、すこやか栄養セミナー等においてがんに関する知識の普及やがん検診受診を啓発した。
	幼児健診の中で、保護者を対象にがん検診のリーフレットを配布し、啓発を実施した。
すこやかくまもと栄養セミナー(食生活改善推進員養成講座)にて、がん発症を予防するための生活習慣を啓発した。	
施策2	令和6年度より「アピアランスケア推進事業」を開始し、医療用ウィッグ等の購入費の助成だけでなく、がん相談窓口やがんの情報提供を行い、がん患者の心理的及び経済的負担の軽減、がんとの共生が図られるよう支援する。
	専門相談員によるがん相談ホットラインの実施、働き&子育て世代のためのがんサロンの定期開催、市民講演会の実施により、がん患者とその家族への相談支援、療養に必要な情報提供を丁寧に行う。
	市政だよりや市ホームページの広報の他、市医師会の広報誌への記事掲載、包括連携協定企業やがん対策企業等連携協定締結企業等への情報提供を行い、年間を通してがんに関する啓発を行う。
	熊本県がん診療連携協議会の部会やがんサロンネットワークくまもと理事会等に参加し、相互に情報共有し、がんに関する市民や関係者への情報発信を行った。

(参考) 感染症に配慮した取り組み

感染症に配慮したの 取り組み内容 ※再掲	・受診者に対する感染リスクの注意喚起とともに感染状況を常に把握し、有効な対策を講ずる。【熊本市医師会】
----------------------------	---

## 2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

取り組み項目		(2)循環器疾患対策					
指標項目	17	脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	基準値		実績値	目標値	
			R2		R2	R17	
			脳血管疾患	男性	76.9	76.9	減少傾向
				女性	45.4	45.4	
	虚血性心疾患	男性	170.6	170.6			
		女性	99.5	99.5			
	18	血圧が正常域の者の増加	基準値		実績値	目標値	
			R4		R5	R17	
			52.3%		52.7%	増加傾向	
	19	脂質(LDLコレステロール)高値の者の減少 (LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合)	基準値		実績値	目標値	
			R4		R5	R17	
			男性	8.7%	8.9%	6.5%	
			女性	13.5%	13.6%	10.1%	
	20	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	基準値		実績値	目標値	
			R4		R4	R17	
			該当者	19.6%	19.6% (法定報告値)	25%減少	
予備群			12.5%	12.5% (法定報告値)			
21	特定健康診査の実施率・特定保健指導実施率の向上	基準値		実績値	目標値		
		R4		R4	R17		
		診査受診率	29.9%	29.9% (法定報告値)	46.0%		
		指導実施率	11.9%	11.9% (法定報告値)	29.5%		
取り組み施策		概要					
施策1	発症予防	循環器疾患の危険因子とその予防に関する知識の普及や技術の啓発を図る。					
施策2	早期発見	特定健康診査・特定保健指導実施率の向上、生活習慣病の早期発見・早期治療に努める。					
施策3	重症化防止	健診結果等により、受診勧奨レベルにある方や治療中断者に対して、受診勧奨を行う。					
施策4	推進体制の整備	市民への啓発を進めるため、医療機関や医療保険者、事業所の健康管理者等との連携を図る。					

### 1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	歯周病と循環器疾患との関連を啓発【熊本市歯科医師会】
	各薬局にてCKDや糖尿病等々の疾患に関するパンフレットを置き、予防に関しての説明、相談を受けている。【熊本市薬剤師会】
	「まちの保健室」の活動で、高血圧、糖尿病、心疾患、肥満、喫煙習慣などの生活習慣病予防について情報提供及び健康相談を行った(3か所)【熊本県看護協会】
	すこやか食生活改善講習会の開催(調理実習と講話を通して、一食分の適量の確認、食塩量、野菜量、組み合わせ等の確認を実施)【熊本市食生活改善推進員協議会】
	熊本県委託事業『令和6年度自然に健康になれる食環境整備に係る「美味しく減塩！県民運動」啓発業務』の実施。啓発チラシの配付と説明、塩分測定器「減塩君」による世帯の汁物塩分の濃度測定(350世帯実施予定)。【熊本市食生活改善推進員協議会】

	各薬局で検査データの説明、相談を受けたときに医療機関の受診が必要と思われる方への受診勧奨を行っている。【熊本市薬剤師会】
施策2	労働安全衛生法に基づく定期健康診断の確実な実施の履行確保【熊本労働基準監督署】
	イベント等において特定健診受診の重要性を啓発する【東区健康まちづくり推進員協議会】
施策3	50人未満の事業場においては、健康診断後の有所見者に対する医師の面接指導を地域産業保健センターにて支援を実施している。【熊本産業保健総合支援センター】
施策4	脳卒中、心疾患、肝疾患等をもつ労働者が治療を受けながら働いていくことができる環境づくりを目的とした「治療と仕事の両立支援」について研修を開催。また両立支援相談窓口を開設し、相談対応する。【熊本産業保健総合支援センター】

## 2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	高血圧の受診勧奨対象者の通知に、高血圧と家庭血圧測定の情報記載した生活習慣病リーフレットを同封した。
	校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、循環器疾患の予防等に関する啓発を実施
	すこやかくまもと栄養セミナー(食生活改善推進員養成講座)にて、循環器疾患の予防について啓発した。
	with children事業で、3歳児健診受診者で家庭の味噌汁の塩分測定を希望される方に測定キットを配布し、その結果をアンケートシステムにて回答してもらう。
	幼児健診時等の待ち時間を活用した啓発動画視聴による健康情報の発信
施策2	特定健診・特定保健指導対象者に電話・ハガキ・SMSによる受診勧奨を実施した
	特定健診結果から受診勧奨対象者にLDLコレステロール140mg/dl以上、中性脂肪300mg/dl以上を追加し、受診勧奨を行う。
	校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、特定健診の受診を啓発
施策3	特定健診の結果から、Ⅱ度高血圧の要治療者に対して通知や保健師や管理栄養士による電話や家庭訪問による受診勧奨・保健指導を実施した
	後期高齢者健診の結果から、Ⅱ度高血圧の要治療者に対して通知や保健師や管理栄養士による電話や家庭訪問による受診勧奨・保健指導を実施した
施策4	大学と連携し、大学が実施する循環器に関する市民公開講座を、熊本健康アプリを通じて市民に周知した。

### (参考) 感染症に配慮した取り組み

感染症に配慮したの取り組み内容 ※再掲	・各薬局にて感染、発病患者様に家庭内感染防止のための換気、消毒、ゾーニング等、家庭内感染防止の為の助言を投薬時、行っている。5類相当に変わったが、引き続き必要な助言を行う。【熊本市薬剤師会】
------------------------	---

## 2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

取り組み項目		(3) 糖尿病対策				
指標項目	22	糖尿病有病者の増加の抑制 (糖尿病治療薬内服中またはHbA1c6.5%以上の者の割合)	基準値	実績値	目標値	
			R4	R5	R17	
				13.4%	13.6%	減少傾向
	23	糖尿病治療継続者の増加 (特定健康診査でHbA1c6.5%以上の者のうち糖尿病のレセプトがない者の割合)	基準値	実績値	目標値	
			R4	R5	R17	
				23.1%	22.3%	減少傾向
24	糖尿病の合併症(糖尿病腎症)の減少 (糖尿病腎症の年間新規透析導入患者数)	基準値	実績値	目標値		
		R4	R5	R17		
			109人	98人	82人	
取り組み施策		概要				
施策1	発症予防	糖尿病の発症・重症化防止のため、糖尿病やその予防法について正しい理解(知識や技術等)の普及啓発を図る。				
施策2	早期発見	特定健康診査・特定保健指導実施率の向上、糖尿病の早期発見・早期治療に努める。				
施策3	重症化防止	健診結果等により、治療が必要であるにもかかわらず医療機関未受診の方や治療中断者に対して、受診勧奨に努める。				
施策4	推進体制の整備	特定健康診査受診や医療継続の必要性について啓発を行う。地域における健康づくりの取組を充実させ、生活習慣の改善を図る。				

### 1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	研修会を開催して熊本地域糖尿病療養指導士を養成。継続研修も開催している【熊本市薬剤師会】
	「まちの保健室」の活動で、高血圧、糖尿病、心疾患、肥満、喫煙習慣などの生活習慣病予防について情報提供及び健康相談を行った(3か所)【熊本県看護協会】
	食生活の見直しを図り糖尿病の予防に関する研修や、運動指導士による実技を取り入れた研修を開催。【熊本産業保健総合支援センター】
	すこやか食生活改善講習会の開催【熊本市食生活改善推進員協議会】
	子育てサークルやイベント等において、ペットボトルに含まれる糖分量について説明、糖尿病や予防について説明し啓発する。 協議会定例会において食事後の個人の血糖の上昇下降を実体験し、区民への予防説明、啓発につなげる【東区健康まちづくり推進員協議会】
施策2	職場において、例年正規・非正規職員の全員が定期健康診断を受診し、検診指摘後のフォローを行っている。【熊本県看護協会】
	35歳以上の被保険者を対象に、特定健診にがん検診項目を含む「生活習慣病予防健診」を実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	40歳以上の被扶養者を対象に特定健診を実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	労働安全衛生法に基づく定期健康診断の確実な実施の履行確保【熊本労働基準監督署】
	特定健診受診の推進【東区健康まちづくり推進員協議会】

施策3	糖尿病と歯周病の関係の啓発と、重症化を防ぐための歯周病治療への取り組み【熊本市歯科医師会】
	各薬局にて糖尿病患者様への重症化リスクを説明し、合併症や心血管イベント等説明するとともに血糖コントロールの重要性を伝えている。【熊本市薬剤師会】
	収縮期血圧160mmHg以上、拡張期血圧100mmHg以上、空腹時血糖126mg/dL以上もしくはHbA1c6.5%以上、LDLコレステロール180mg/dL以上の医療機関未受診者に受診勧奨を実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	熊本支部および外部委託(健診機関、専門機関)による特定保健指導を実施。【全国健康保険協会熊本支部】
施策4	糖尿病等をもつ労働者が治療を受けながら働いていくことができる環境づくりを目的とした「治療と仕事の両立支援」について研修を開催。また両立支援相談窓口を開設し、相談対応する。【熊本産業保健総合支援センター】

## 2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	糖尿病の受診勧奨通知に、糖尿病と専門医の情報を記載した生活習慣病リーフレットを同封した。
	校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、糖尿病やその予防等に関する啓発を実施。
	本市の健康課題である糖尿病の予防や健康に関する知識の普及を図ることを目的とした健康教育を実施する。
	糖尿病予防教室を開催し、糖尿病予防についての医師講話や、運動・食生活・口腔との関係などについて、正しい知識の普及等を行った。
	幼児健診時等の待ち時間を活用した啓発動画視聴による健康情報の発信
	幼児健診時、保護者向けに朝食の大切さとバランスの良い食事について啓発を行った。
	すこやかくまもと栄養セミナー(食生活改善推進員養成講座)にて、糖尿病を予防するための啓発を行った。
施策2	「体を知る日」を設定し、血圧測定や体組成測定、血糖測定、骨密度測定などを行い、「チャレンジシート」で予防的な生活習慣の目標を立て、肥満や糖尿病予防のための知識の普及や技術の啓発を行った。
	「世界糖尿病デー」に合わせ、本庁舎1階ロビーにて糖尿病予防に関する展示を行うとともに、SNS等での情報提供を実施した。
	特定健診・特定保健指導対象者に電話・ハガキ・SMSによる受診勧奨を実施した。
	特定健診結果から受診勧奨対象者に空腹時血糖126mg/dl以上、随時血糖200mg/dlを追加し、通知による受診勧奨を行う。
施策3	糖尿病の早期発見のため、校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、特定健診の受診を啓発
	健康相談日を「体を知る日」として設定し、計測を行うことで自身の体を知る必要性を認識してもらい、受診勧奨を行った。
施策3	特定健診の結果から、糖尿病の未治療者やコントロール不良者、中断者に対して通知や保健師や管理栄養士による電話や家庭訪問による受診勧奨・保健指導を実施した
	後期高齢者健診の結果から、糖尿病の未治療者やコントロール不良者に対して通知や保健師や管理栄養士による電話や家庭訪問による受診勧奨・保健指導を実施した
施策4	イベント等を通じて、特定健康診査の受診等について啓発を行った。
	「校区単位の健康まちづくり」のさらなる活性化をめざし、各区の活動方針の改定を行った。

## 2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

取り組み項目	(4)CKD対策				
指標項目	25	新規人工透析者数の減少	基準値	実績値	目標値
			R4	R5	R17
			260人	212人	200人
取り組み施策	概要				
施策1	発症予防	CKDの発症予防のためCKDやその予防法について正しい理解(知識や技術等)の普及啓発を図る。			
施策2	早期発見	腎機能を測るため、特定健康診査・特定保健指導実施率の向上のための対策を図り、早期発見・早期治療につなげる。			
施策3	重症化予防	CKD病診連携システムの効率的な運用を図る。栄養連携システムの周知を図る。			
施策4	推進体制の強化	関係医療機関や検診実施機関、市民団体、保険者、民間企業間の連携を強化する。地域における健康づくりの取組を充実させ、生活習慣の改善の継続を図る。			

### 1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	糖尿病と歯周病の関係の啓発と、CKD発症につながらないような歯周病治療への取り組み【熊本市歯科医師会】
	CKDの研修会に参加し正しい知識を取得し、普及啓発を図っている。【熊本市薬剤師会】
	「まちの保健室」の活動で、高血圧、糖尿病、心疾患、肥満、喫煙習慣などの生活習慣病予防について情報提供及び健康相談を行った(3か所)【熊本県看護協会】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に、CKDの危険因子である糖尿病や高血圧等に関する研修会を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	すこやか食生活改善講習会の開催【熊本市食生活改善推進員協議会】
施策2	熊本県委託事業「令和6年度自然に健康になれる食環境整備に係る「美味しく減塩！県民運動」啓発業務」の実施。啓発チラシの配付と説明、塩分測定器「減塩君」による世帯の汁物塩分の濃度測定(350世帯実施予定)。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	職場において、例年正規・非正規職員の全員が定期健康診断を受診し、検診指摘後のフォローを行っている。【熊本県看護協会】
	35歳以上の被保険者を対象に、特定健診にがん検診項目を含む「生活習慣病予防健診」を実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	40歳以上の被扶養者を対象に特定健診を実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	労働安全衛生法に基づく定期健康診断の確実な実施の履行確保【熊本労働基準監督署】

施策3	各薬局にて特定健診や定期健診の結果を見せて頂き、医療機関受診勧奨や必要な助言を行っている。【熊本市薬剤師会】
	「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」において、糖尿病等病状に応じた支援について学習し、関係機関と連携した在宅療養支援を行う【熊本県看護協会】
	収縮期血圧160mmHg以上、拡張期血圧100mmHg以上、空腹時血糖126mg/dL以上もしくはHbA1c6.5%以上、LDLコレステロール180mg/dL以上の医療機関未受診者に受診勧奨を実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	CKDハイリスク者への受診勧奨を実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	食生活の見直しを図り糖尿病からのCKD予防に関する研修や、運動指導士による実技を取り入れた研修を開催。【熊本産業保健総合支援センター】
	熊本支部および外部委託(健診機関、専門機関)による特定保健指導を実施。【全国健康保険協会熊本支部】

## 2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	慢性腎臓病対象者の受診勧奨通知に、慢性病と専門医の情報記載した生活習慣病リーフレットを同封した
	校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、CKDやその予防等に関する啓発を実施
	民児協会議、幼児健診時にCKDやその予防に関する情報提供を実施
	幼児健診時、保護者向けに朝食の大切さとバランスの良い食事について啓発を行った。
	すこやかくまもと栄養セミナー(食生活改善推進員養成講座)にて、CKDを予防するための生活習慣を啓発した。
	健康相談の実施
	「体を知る日」を設定し、血圧測定や体組成測定、血糖測定、骨密度測定などを行い、「チャレンジシート」で予防的な生活習慣の目標を立て、知識の普及や技術の啓発を行った。
	熊本大学腎臓内科及び腎臓病療養指導士連絡協議会との共催により、地域でのイベント等の場において、CKDの予防に関する啓発を実施した。
世界腎臓デー(3月第2木曜日)に市役所ロビーでの啓発コーナーの設置やSNS等により、CKD予防の情報提供を実施した。	
施策2	特定健診・特定保健指導対象者に電話・ハガキ・SMSによる受診勧奨を実施した
	特定健診結果からCKDの受診勧奨対象者の主治医様宛文書にCKDガイドラインの診療基準を記載、CKD連携医システムのリーフレットを同封する
	特定健診結果から受診勧奨対象者にG3aA1、2年連続尿蛋白(±)を追加し、通知による受診勧奨を行う。
	校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、特定健診の受診を啓発
	1歳半健診時に、妊娠健診で尿蛋白陽性であった者(保護者)に対し、尿検査キットの配布を実施
	国保の重症化予防対象者への家庭訪問において、特定保健指導対象者に対し、目標をたてるなど動機づけ支援を行った。

施策3	特定健診の結果から、CKDの要治療者に対して通知や保健師や管理栄養士による電話や家庭訪問による受診勧奨・保健指導を実施した
	後期高齢者健診の結果から、CKDの要治療者に対して通知や保健師や管理栄養士による電話や家庭訪問による受診勧奨・保健指導を実施した。対象基準：尿蛋白2+以上もしくはeGFR30未満
施策4	CKD対策病診連携システムの推進を図るため、登録医及び特定健診実施機関の医師を対象に研修会を開催した。

### 3 健康になれるコミュニティづくり

取り組み項目		(1) 校区単位の健康まちづくり			
指標項目	26	健康まちづくりに取り組む校区数の増加 (校区のめざす姿を決定したまたは確認した 校区数)	基準値	実績値	目標値
			R5	R5	R17
			69	69	92校区
指標項目	27	「健康づくりに取り組んだ」回数の増加 (地域において健康づくり活動を実施した回 数)	基準値	実績値	目標値
			R5	R5	R17
			96	96	増加傾向
取り組み施策		概要			
施策1	健康まちづくり の推進	「熊本市健康まちづくり活動方針」に基づき、地域の特色に応じた健康まちづくり の活動を推進する。			

#### 1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	要請があれば、歯科健康講座等への講師派遣【熊本市歯科医師会】
	東区の健軍健康フェスタに参加し、薬剤師会ブースにてお薬相談を受けている。【熊本市薬剤師 会】
	校区で実施される健康まちづくりのイベントに協力した。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	「あぐりキッズスクール」を開催し、小学生と保護者を対象に農や食の大切さを体験してもらった。 【熊本市農業協同組合】

#### 2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	校区ごとの健康づくりの取り組みを行う。
	健康まちづくり委員会をはじめ、校区自治協議会・民生児童委員協議会等地域組織および関係 機関と校区健康カルテ等用いて校区の健康課題を共有した。
	健康まちづくり推進員協議会の活動支援(地域における健康づくり活動の支援、活動PR等)
	校区自治協議会を母体とした「健康づくりを考える組織」と連携しながら推進 健康づくり部会等地域組織へ校区カルテ・KDBシステム等を活用して健康に関するデータや健康 課題を共有し、活動の方向性を話しあった。 地域組織が開催するイベント時に健康チェックや啓発活動の協力を行った
	若い世代をターゲットに西区健康センター来所者に西区の健康課題や健康情報の発信を行い、 健康意識の醸成を図っている。
	福祉課主催の西区地域包括ケアシステムのアクションプラン作成に向けた各包括圏域毎の会議に 参加し、関係機関と地域の健康課題等の情報交換を行った。
	まちづくり推進経費を活用した動画による西区健康課題の区民への周知及び若い世代からの生 活習慣病予防の啓発(血管年齢測定、骨密度測定の実施)
	南区健康まちづくり事業推進プロジェクト会議、6つのまちづくりセンター単位の活動推進チーム会 議、健康まちづくり職員研修(集合形式)の実施。関係機関との会議や地域組織との協働による取 組を実施。
北区の健康課題を分析し、今後の目標も含め、報告会で地域の方々に説明し周知した。	

	北区健康まちづくりの取組みとして、「北区民の血管を守ろうプロジェクト」を開始。その取組みの中でヘルスリテラシーを向上させる目的で「体を知る日」を実施。
	正しい生活習慣の普及のための調査研究を企業と大学と行政で連携し行うための話し合いを行っている。
施策1	健康まちづくりワーキング会議において、まちづくりセンターなど区内各課と連携し、地域の特性に応じた健まち促進について会議を実施。
	関係職員の知識向上のため、職員向け研修会を開催した。
	優れた取組み、独創的な取組み等を市民全体で共有する機会として、「健康まちづくり事例発表会・市民講演会」を開催した。

### 3 健康になれるコミュニティづくり

取り組み項目	(2) 健康づくりを支えるボランティアの育成・支援				
指標項目	28	健康づくり推進に関するボランティア数等の増加 (食生活改善推進員及び8020推進員の会員数)	基準値	実績値	目標値
			R5	R5	R17
			997人	989	1,200人
取り組み施策	概要				
施策1	ボランティア養成	食生活改善推進員や8020推進員などの健康づくりに関するボランティア養成に継続して取り組む			
施策2	ボランティア支援体制の充実等	食生活改善推進員や8020推進員の資質の維持・向上のため、継続的な支援を行う。			

#### 1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	食生活改善推進員養成講座の受講生の開拓や、養成講座での活動の実際のお話やグループワークに参加し、行政が行う養成講座に協力した。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	東区健康まちづくり推進員協議会員増加のための新会員を募集(R6.10.4終了し、7名入会)【東区健康まちづくり推進員協議会】
施策2	熊本城マラソンのボランティアとしての活動【熊本市スポーツ推進委員協議会】
	行政が開催する、食生活改善推進員の研修会等に参加し、推進員がそれぞれ自己研鑽に励んだ。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	熊本城マラソンで「おもてなし隊」として完走したランナーへ味噌汁の配布。【熊本市農業協同組合】
	イベント等に参加し、能力や士気を高めるように新会員と一緒に行動する。 協議会定例会を開催、スキルアップ研修会を1回/2ヵ月実施【東区健康まちづくり推進員協議会】

#### 2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	熊本市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、ボランティア活動を支援している。
	介護予防の普及・啓発を行い、地域ニーズに応じた健康づくり・介護予防を推進する「介護予防サポーター」を養成し、その活動を支援した。
	8020推進員育成講座を5区役所で開催した。
	食生活改善推進員養成講座(すこやかくまもと栄養セミナー):食を通した健康づくりのボランティア「食生活改善推進員」の養成。 食生活改善推進員研修会:ボランティア活動に生かすための知識と技術を習得するため研修会を実施した。
施策2	介護予防サポーターを対象に、転倒防止や関節ケア等に関する講座を開催し、スキルアップを支援した。
	食生活改善推進員、8020推進員それぞれの協議会の運営、定例会の開催を支援した。
	健康まちづくり推進員協議会の活動支援(地域における健康づくり活動の支援、活動PR等)
	熊本市8020健康づくりの会活動支援:推進員が自主的かつ円滑に活動できるように、会議等での助言や、相談支援等を行った。 食生活改善推進員活動支援:推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行った。

### 3 健康になれるコミュニティづくり

取り組み項目	(3) 企業・大学等の健康づくり活動の促進				
指標項目	29	企業、大学等での食育に関する講座の開催 件数	基準値	実績値	目標値
			R4	R5	R17
			3件	18件	40件
取り組み施策	概 要				
施策1	職場における健康づくり	職域と連携し、職場における健康づくりを推進する。			
施策2	産学公民の連携による健康づくり	大学や企業等と連携し、市民が健康づくりしやすい環境整備を図る。			

#### 1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	要請があれば、検診等への協力【熊本市歯科医師会】
	事業所が健康経営に取り組むことを宣言する「ヘルスター健康宣言」事業を推進。【全国健康保険協会熊本支部】
	加入事業所への無料の出前講座を実施している。内容は「食事」を含む複数のテーマから選択でき、令和6年度6月の開始から9月末までに、「食事」を希望した7社へ出前講座を実施。【全国健康保険協会熊本支部】
施策2	健診結果及び問診結果等を、事業所ごとに集計し見える化した「事業所カルテ」の展開。【全国健康保険協会熊本支部】
	大学の学食での食育イベント(野菜計り)等を開催し、若い世代へ食育の重要性を啓発した。【熊本市食生活改善推進員協議会】

#### 2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	17社のがん対策企業等連携協定締結企業において、企業等の従業員及びその家族へのがん予防及びがん検診の情報提供を実施。
	働き盛り世代が、自身の健康状態や食生活の問題点に自らが気づき、改善の必要性を認識し行動に移すための「働き盛り世代のための食育実践講座」を実施した。
施策2	イオンでの健康測定会の実施
	花王によるプレパママ教室の実施
	大学生対象の健康づくりのワークショップ開催
	正しい生活習慣の普及のための調査研究を企業と大学と行政で連携し行うための話し合いを行っている。
	食品関連事業者等が実施する食育活動支援事業:市民が食育を実践しやすい環境を整備するため、食品関連事業者に野菜摂取啓発ポスターや野菜レシピの配付、栄養表示の支援を行い、食品関連事業者等が実施する食育活動に必要な技術的支援等を行う。

### 3 健康になれるコミュニティづくり

取り組み項目	(4)こころの健康づくり				
指標項目	30	自殺者の減少(人口10万人当たり)	基準値	実績値	目標値
			R4	R5	R9
	31	ゲートキーパー養成者数の増加 (ゲートキーパー研修受講者数)	基準値	実績値	目標値
			R4	R5	R9
			2,168人	3,990人	3,168人 250人/年
取り組み施策	概要				
施策1 早期発見や啓発等	心の健康相談などを通して、うつ病の早期発見や早期治療につなげるとともに、市民への精神疾患についての啓発を行う。				
施策2 こどもたちのこころの健康	こどもたちのこころの健康保持とこどもたちを取り巻く関係者への児童思春期の精神保健等の理解の普及を図る。				
施策3 自殺対策	自殺対策として包括相談会や啓発等を行うとともに、関係者間の連携強化を図る。				

#### 1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	職場のメンタルヘルスケア対策の研修会開催【熊本県看護協会】
	看護職のアンガーマネジメントの研修会開催【熊本県看護協会】
	看護管理者に必要なレジリエンスの研修会開催【熊本県看護協会】
	熊本産業保健総合支援センターと連携した同センター相談窓口の周知広報。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業所の産業保健スタッフ等を対象に、メンタルヘルスケア関連及びストレスチェック制度導入等の研修会を開催。【熊本産業保健総合支援センター】
	事業所の要請による事業場への個別訪問を実施しメンタルヘルスに関する取り組み支援を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	事業場におけるストレスチェックの確実な実施を監督指導【熊本労働基準監督署】
「熊本こころの健康アドバイザー制度」の周知と利用勧奨【熊本労働基準監督署】	
施策2	スクールソーシャルワーカー(SSW)との連携【熊本市障がい者相談支援センターウィズ(中央区より)】
施策3	職場における自殺の予防と対応をテーマとした研修会の実施、並びに自殺予防に関する情報提供を実施。【熊本産業保健総合支援センター】

#### 2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	心の健康相談を1回/月実施。(精神科医による予約制の個別の面接相談等)
	精神的問題や育児不安等を抱える妊産婦に、産科医療機関と連携し妊産中から訪問等の支援を実施。出産後も産後うつ等の産婦への訪問等を早期に実施し、切れ目のない支援を行っている。
	精神障がい者地域生活移行支援部会等に参加し、情報交換を行った。
	各校区の自治協・民協等の定例会において「心のケア」に関する相談先を周知。
	市民へのこころの健康づくり講演会(1回 参加者19人)。

施策2	思春期における精神保健福祉に関する研修会(思春期精神保健福祉研修会)を教育・医療・福祉関係者を対象に実施。
	保護者や子どもに関わる支援者向けの講演会を実施。
	子どもの悩みや権利に関する相談に対し、子どもホットラインによる相談対応やNPO法人と連携した24時間365日相談可能なチャット相談を行い、学校内外を問わず受け付け、解決に向けて取り組んだ。
	学校における心の健康についての環境整備や早期発見の取組として、児童生徒や保護者が悩み等を話せるようにスクールカウンセラー、心のサポート相談員の配置を実施。スクールソーシャルワーカー、ユア・フレンドを派遣。スクールカウンセラーは全中学校42校区に配置してすべての小中学校に対応し、R6年度からスクールソーシャルワーカー21人体制で活動している。R6年度のユア・フレンドは登録者数225人。
	精神的問題や育児不安等を抱える妊産婦に、産科医療機関と連携し妊娠中から訪問等の支援を実施。出産後も産後うつ等の産婦への訪問等を早期に実施し、切れ目のない支援を行っている。
施策3	精神科医・弁護士等による包括相談会を実施。 また自殺予防週間にあわせて時間を延長し、電話相談を実施。
	自殺予防研修会、自死遺族支援者研修会、ゲートキーパー養成研修、庁内向け動画研修、電話対応スキルアップ研修会、災害時のこころのケア研修会、生徒指導主任・主事研修会を実施。 自死遺族グループミーティングを実施。 自殺未遂者支援事業を実施。
	SNS相談事業を令和6年4月1日～令和7年3月31日まで実施。
	うつ病等の精神疾患の早期発見・早期治療を図るため、「かかりつけ医等心の健康対応力向上事業」を実施(県との合同事業)。
	教職員向けのゲートキーパー養成研修を実施。
障がい保健福祉ネットワーク連絡会や地域生活移行支援会議等に参加し、情報交換、事例検討会を行った。	

#### 4 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

取り組み項目		(1)こどもの健康づくり				
	32	肥満傾向にあるこどもの割合の減少 (小学校5年生の中等度・高度肥満傾向児の割合)	基準値		実績値	目標値
			R4		R5	R17
			男子	7.5%	6.50%	減少傾向
女子	3.8%	4.70%	減少傾向			
取り組み施策		概要				
施策1	こどもの心身の健やかな成長と生活習慣の確立	こどもの心身の健やかな成長を育み、健康的な生活習慣を身につけるため、健康支援や子育て支援の充実を図るとともに、保育所・幼稚園・学校等関係機関との連携強化に取り組む。				
施策2	母子の健康	妊娠期の心身の健康を保持、増進するために、妊婦健康診査の勧奨を行い、医療機関との連携を図るとともに、母子の健康増進に関する知識の啓発に努める。				

##### 1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	学校薬剤師が各担当校からの依頼により、「早寝早起き朝ごはん」についての講演を行っている。【熊本市薬剤師会】
	学校保健委員会に参加し、健康教育への助言を行っている。【熊本市薬剤師会】
	助産師職能委員会で、県下の高校・中学校・小学校に性教育出前授業を実施しており、「命の大切さ、心と体」のテーマで生命誕生や、性感染症について講義を行った。【熊本県看護協会】
	助産師を対象とした「思春期にある対象者の理解/性教育のあり方」の研修会開催【熊本県看護協会】
	小学校高学年児童を対象とした、生活習慣病予防等の啓発媒体を作成。7年度以降の活用を目指す。【全国健康保険協会熊本支部】
	園児や保護者に対して家庭での生活や食事のあり方について、園だよりや学年だより等で知らせている。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	新型コロナ感染が第5類に移行された後も、園児の手洗いやうがいの励行を続けるようにしている。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	内科検診や歯科検診の実施により、疾病やむし歯等の早期発見に努めた。園だより等で園児の健康管理の必要性について保護者に知らせている。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	園児の心の安定を図るため、園内での健康状態の把握と家庭での生活状況の把握に務めている。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	フッ化物洗口について、実施園の成果等を他園にも知らせ啓発と実施の呼びかけをしている。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
施策2	こどもの食育推進ネットワークにおいて、保育園等の施設と連携し、食育推進のためのイベント等に協力した。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	地域の子育てサークル等で、おやつ提供や、乳幼児期の食生活についてお話しを行った。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	歯周病と早産との関係の啓発と、歯周病治療による早産予防。子供の虫歯罹患率の減少への取り組み【熊本市歯科医師会】
施策2	助産実践能力強化と資質向上に向けた支援のため、研修会を開催【熊本県看護協会】
	各区保健子ども課と連携を図り、園児の健康相談はじめ児童虐待防止に務めている。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】

##### 2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	熊本市結婚・子育て応援サイトにおいて、親子にやさしいお出かけマップや子育て応援団体によるイベント等の子育てに役立つ情報を発信した。
	子育て支援センター等の地域子育て支援拠点事業では、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育てに関する相談及び地域の子育て関連情報の提供を実施している。
	こども家庭センターにおける育児相談や幼児健診の相談、保健指導の強化を図る。
	こども家庭センターとして地域の子育て支援関係機関との連絡調整、連携、協働の体制作りを行う。
	小学4年生の肥満度20%以上の児童を対象に、市医師会と連携した小児生活習慣予防検診を10月～12月に実施。また3月には小児生活習慣予防検診を受けた児童とその保護者を対象に、小児生活習慣病予防検診説明会を実施。さらに「生活習慣改善啓発パンフレット」と「健康手帳」を教育委員会が作成し、各学校で活用している。就学時健康診断において全就学児保護者に「生活習慣改善啓発パンフレット」を配布し、生活習慣の確立を呼びかけている。また各学校に健康手帳及び生活習慣改善啓発パンフレットを配布し、肥満度20%以上の児童生徒や保護者等に保健指導を行うよう周知している。
	熊本市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、子どもの健康や子育てを支援している。
	熊本市立保育園給食の食事計画評価とあわせて、身体状況・主食量調査を行い、肥満・やせ等の状況把握と個別結果に基づく啓発を行った。
	生活リズムや感染症予防、健康に関する情報について、「ほけんだより」や「食育だより」を発行し、保護者啓発を行った。
	在園児の心身の健康状態や疾病の把握のために、定期的に健康診断や身体測定等を行い、発育・発達に応じて保育を行った。
	生命の大切さや妊娠・出産、今必要な生活習慣について考える機会として健康教育を実施している。
	区・校区子育て支援ネットワーク、学校保健委員会等において、こどもの生活リズム等について情報共有。
	子育てサークル等でこどもの生活習慣・生活リズムについて健康教育を実施。
	校区子育て支援ネットワーク運営委員会・連絡会の実施
	特別支援学校の生徒を対象に、生命の大切さや妊娠・出産等について考える機会として健康教育及び体験学習を実施。
	幼児健診時に「早寝・早起き」等生活リズムについての啓発を実施。
	学校のいじめ防止等対策委員会に保健師が出席し、情報交換を実施。(4回 36人)
	中学校において妊婦子育て講演会を実施(1回 150人参加)
	くまもと森都心プラザ「プラザ図書館」内に子育て支援施設「駅前子育てひろば」を設置し、医師・保健師・栄養士・歯科衛生士による健康教育や育児相談を実施。
	小中学校保健委員会や就学時健診で、規則的な生活習慣の必要性等について健康教育を実施
	家庭訪問や子育てサークル等で、子どもの成長確認、生活習慣・生活リズムについて健康教育を実施、保育園や幼稚園、学校等、関係機関との連携を図った
こどもの食育推進ネットワーク地域研修会において、グループワークを行い情報共有した。	

施策2	親子(母子)健康手帳交付時に早産予防および妊娠期の異常の早期発見・対応についての保健指導を行い、妊婦健康診査受診票を交付して定期健診の受診勧奨を行う。
	母子手帳交付時保健師や栄養士等が面談し、妊娠期の健康づくりについて情報提供を行った。
	子育て応援アプリを導入し、月齢に応じた健康情報や居住地域の子育て支援情報等の提供を行う。
	食育実践講座(離乳食教室)を行い、乳児の食事について啓発を行った。
	幼児健診時、生活リズムについて啓発した。

#### 4 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

取り組み項目	(2) 女性の健康づくり				
指標項目	33	若年女性のやせの減少 (BMI18.5未満の20歳～30歳代の女性の割合)	基準値	実績値	目標値
			R5	R5	R17
			16.8%	16.8%	13.5%
取り組み施策	概要				
施策1	女性特有の疾患についての啓発	女性特有の疾患に関する情報提供を行い、健康的なライフスタイルを推進する。			
施策2	骨粗鬆症についての啓発	骨粗鬆症についての周知啓発や、骨密度検査の勧奨等の啓発に取り組む。			
施策3	妊娠中や授乳中の飲酒の防止	※【再掲】1(4) 施策4			

##### 1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	助産師を対象とした「女性の健康維持のためのペリネ(骨盤底筋群)ケア ～天然コルセットを身に付けよう!～」の研修会を通して、女性の健康づくりを支援する【熊本県看護協会】
	講座等の機会に、健診の受診等について啓発する。【熊本市食生活改善推進員協議会】
施策2	被扶養者を対象とした特定健診の集団健診において、骨密度検査を実施した。(一部会場では無料オプションで実施)【全国健康保険協会熊本支部】
	会員も高齢であるので、まずは会員への骨粗鬆症の予防と転倒等への注意を呼びかける。また、講習会等の参加者への骨粗鬆症の啓発と転倒等の注意を呼びかける。【熊本市食生活改善推進員協議会】

##### 2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	
施策2	骨粗鬆症予防教室の実施
	地域における骨粗鬆症予防の啓発・骨密度測定の実施
	離乳食教室や子育てサークル等で若い世代の女性に向けて骨粗しょう症予防についての啓発を行う。
	校区民生委員児童委員協議会定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取組等を通して、骨粗鬆症の予防等に関する情報提供を実施。
	「体を知る日スペシャル」として骨密度測定を行い、生活習慣の指導や受診勧奨を実施。
	幼児健診時(3歳半)、保護者向けに骨粗鬆症予防のチラシを配布し啓発を行った。

#### 4 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

取り組み項目	(3)働き盛り世代の健康づくり
指標項目	2 運動習慣者の増加【再掲】
	4 睡眠を十分にとっている市民の増加【再掲】
	5 ストレスをためないよう気分転換を図っている市民の増加【再掲】
	21 特定健康診査の実施率・特定保健指導実施率の向上【再掲】
取り組み施策	概 要
施策1 若い世代からの健康意識の醸成	行政、地域住民、保険者、民間企業等が連携を図り、働き盛りの若い世代やそれよりも若い世代への健康に関する普及啓発を行う。
施策2 生活習慣病の早期発見・発症予防	関係機関が連携し、特定健康診査やがん検診等の必要性や受診方法等について、分かりやすく情報提供する。
施策3 働き盛り世代のこころの健康	精神的な不調や悩みについての相談や、精神疾患に関する正しい情報提供を行うとともに、かかりつけ医と精神科医による連携を強化する。

##### 1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	東区健軍商店街の健康フェスタに参加し、薬剤師会ブースにて健康やお薬の相談を受けている。【熊本市薬剤師会】
	園児や保護者に対して家庭での生活や食事のあり方について、園だよりや学年だより等で知らせている。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	東区民まつりや企業とマッチングし、体力測定を実施、結果(データ)により運動の必要性を啓発していく。【東区健康まちづくり推進員協議会】
施策2	歯科の受診率が低い世代なので、効果的な受診勧奨【熊本市歯科医師会】
	熊本商工会議所等と連携し、会報誌への健診受診の記事を掲載。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業所が健康経営に取り組むことを宣言する「ヘルスター健康宣言」事業を推進。宣言項目には従業員・家族の健診受診率の目標を記載。5年度末で宣言を行った事業所数は約3,000事業所。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に、生活習慣病に関する研修会を実施。また、50人未満の事業場については地域産業保健センターより健康診断後の有所見者に対する医師の意見聴取や保健指導を実施する。【熊本産業保健総合支援センター】
	定期健康診断結果を反映した生活習慣病予防等の健康保持増進を指導【熊本労働基準監督署】
イベント時特定健診やがん検診の必要性について説明【東区健康まちづくり推進員協議会】	

施策3	職場のメンタルヘルスクエア対策の研修会開催【熊本県看護協会】
	看護職のアンガーマネジメントの研修会開催【熊本県看護協会】
	看護管理者に必要なレジリエンスの研修会開催【熊本県看護協会】
	熊本産業保健総合支援センターと連携した同センター相談窓口の周知広報。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に、メンタルヘルス対策に関する研修会や情報提供を実施、また事業場からの事業場の要請による個別訪問を実施し若年労働者向けのメンタルヘルス対策の教育や管理監督者向けに体制づくり、部下のメンタル不調に対する予防法等のメンタルヘルス対策の教育支援を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	各区保健こども課と連携を図り、園児の健康相談はじめ児童虐待防止に務めている。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	園児の心の安定を図るため、園内での健康状態の把握と家庭での生活状況の把握に務めている。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	事業場におけるストレスチェックの確実な実施を監督指導【熊本労働基準監督署】
「熊本こころの健康アドバイザー制度」の周知と利用勧奨【熊本労働基準監督署】	

## 2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	幼児健診時等の待ち時間を活用した啓発動画の視聴により、子育て中の若い世代をターゲットに西区の健康課題や健康情報の発信を行った。
	まちづくり推進経費を活用した動画による西区健康課題の区民への周知及び若い世代からの生活習慣病予防の啓発(血管年齢測定、骨密度測定の実施)
	北区管内の図書館(室)と連携して野菜をテーマにした企画展を開催した。
	食育月間に区役所ロビーにてパネル展示やレシピの配布等を行った。
	北区で作成した野菜摂取促進ポスターを管内の各種団体に掲示してもらい啓発を図った。特に保育園等で行うことで働き盛り世代への啓発につながった。
	「熊本市北区発！農家めしプロジェクト」として、北区の農家の方に野菜レシピを紹介してもらい北東部農業振興センター、植木まちづくりセンターと連携し野菜の普及及び摂取促進の啓発を図った。
	幼児健診時、保護者向けに朝食の大切さとバランスの良い食事、カルシウムの摂取についてのチラシ、栄養成分表示の見方のチラシを配布し啓発を行った。
	野菜摂取促進のための啓発動画を北区役所のモニターで放映した。
	体を見直すきっかけとして行っている「体を知る日」を、昼休みに参加出来るように12時開始としている。

施策2	特定健診対象者へ送付した受診券の同封文書において、がん検診に関する内容も含め、受診勧奨を行った。
	特定健診・特定保健指導対象者に電話・ハガキ・SMSによる受診勧奨を実施した
	区民課国保窓口と連携し特定健診のチラシを用いた特定健診受診勧奨、年度途中加入者への特定健診受診券発行に取り組む。
	熊本市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、生活習慣病予防を支援している。
	地域の会議、イベントや健康教育等において、がん検診や特定健診の受診勧奨を実施。
	幼児健診や家庭訪問等で保護者・家族に特定健康診査やがん検診等の必要性や受診方法等についての情報提供を行った。
施策3	市民へのこころの健康の啓発として、講演会の開催やパンフレット配布、市政だより、ホームページを活用した啓発、市民へのこころの健康づくり講演会を実施。
	市民や地域の支援者に対し、ストレスに関する講話を実施。

(参考) **感染症**に配慮した取り組み

<b>感染症に配慮した の取り組み内容</b> <b>※再掲</b>	・手足口病や感染性胃腸炎にかかる園児が増えてきており、保護者への情報提供と園の取り組み内容(手洗いの励行など)を知らせてきた。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
---	--

#### 4 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

取り組み項目		(4) 高齢者の健康づくり				
指標項目	34	65歳以上の元気な高齢者の増加 (65歳以上の人口のうち要介護・要支援の認定を受けていない者の割合)	基準値	実績値	目標値	
			R5	R5	R8	
				79.51%	79.51%	79.91%
	35	社会活動を行っている高齢者の増加 (住民主体の通いの場(定期的に介護予防活動等を行うための場)の数)	基準値	実績値	目標値	
			R4	R5	R8	
				768	811	876
36	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している市民の割合の増加	基準値	実績値	目標値		
		R5	R5	R17		
			50.1%	50.1%	80.0%	
取り組み施策		概要				
施策1	高齢者の健康づくり	医療機関、その他の専門職、地域団体やボランティア等と連携し、高齢者の健康増進を図る。				

#### 1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	オーラルフレイルの啓発と予防への取り組み【熊本市歯科医師会】
	ささえりあ主催の地域連携会議に参加し、介護各職種との連携を行っている。【熊本市薬剤師会】
	各薬局にて認知症高齢者やその家族の相談を受けている。【熊本市薬剤師会】
	「高齢者の暮らしを支える看護職連携・多職種連携の実際」についてオンデマンド研修を開催【熊本県看護協会】
	認知症の人や家族を支えるための「熊本市市看護職員認知症対応向上研修(マネジメント編)」を開催。医療機関内全体で認知症の人の生活環境の維持・向上を維持することを目指し、研修修了者は同じ医療機関等の看護師に対し伝達を行う【熊本県看護協会】
	歯の祭典などのイベントで技工物の相談を通じてメンテナンス方法などのアドバイスを実施【熊本市歯科技工士会】
	健康活動等を通しエビデンスに基づいた効果的なフレイル予防や認知症予防等の介護予防の充実と推進を図る【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	通いの場の継続や創出を行い積極的な社会参加を促し活動性を向上させすことで、元気高齢者の増加や健康まちづくりの担い手の創出を図る。【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	自立支援型地域ケア会議にて、地域包括ケアシステムの構築と深化のため、医療・保健と介護・福祉の連携を図り、個人のミクロから地域のマクロまで、自助・互助へ働きかける。【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に、50歳を超えてからの健康づくりや転倒リスク回避のための強化法、健康不調を予防するセルフケアのやり方等の研修を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(=エイジフレンドリーガイドライン)」の周知及び実施勸奨【熊本労働基準監督署】
	地域の高齢者サロンでの食事の話や男性料理教室等を開催し、食育を推進した。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	管内、13グループによるミニデイサービスを行った。【熊本市農業協同組合】
校区の集いの場で、栄養に関する講話を実施【ささえりあ帯山(中央区より)】	
校区の集いの場において、口の健康(特定検診案内)について講話、体操、情報提供等実施【中央区代表】	
校区の集いの場において、ロコモティブシンドローム予防の講話と運動を実施【ささえりあ帯山(中央区より)】	

施策1	校区の集い場でフレイル予防や運動の必要性等について講話や指導、情報提供を実施。保健と介護予防の一体化事業や広域リハビリ、保健こども課等と協力して体力測定及びそのフィードバック、運動指導等を行い健診の必要性と予防について参加者で共有【ささえりあ帯山(中央区より)】
	3つの中学校校区で、地縁組織、福祉事業所、医療機関、行政等含めて、「お互い様のまちづくり研修会」を開催し、町内マップを活用して、身近な集いの場所について町内単位でグループワークを開催し実践に結びつく研修会を実施。【中央区代表】
	校区の集いの場で、認知症についての講話、その予防について、脳トレなどを実施した。【中央区代表】
	リハ職派遣事業または圏域の医療機関や福祉サービス事業と連携しながら集いの場での専門職による講話や運動指導などを実施【ささえりあ帯山(中央区より)】
	熊本健康アプリの提案と活用【ささえりあ帯山(中央区より)】
	高齢者サロン、通いの場、東区民まつり、校区イベント等でロコモ予防、転倒予防等の体力測定や体操等を実施【東区健康まちづくり推進員協議会】
	協議会員に認知症サポーターになるための講義を実施し、認識を深めた【東区健康まちづくり推進員協議会】

## 2. 令和6年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	熊本市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、高齢者の健康、介護予防、認知症への理解促進を支援している。
	高齢者の転倒・骨折を予防するため、自宅でも取り組める運動や口腔、栄養に関する情報を掲載した「目標到達！運動手帖-転倒・骨折予防編-」を作成し、配布した。
	ロアッソ熊本の選手が実践しているトレーニングを参考に、65歳以上でも取り組める運動プログラムを開発し、同プログラムを活用した健康教室を公民館等で開催した。また、参加対象年齢を「65歳以上」から「50歳以上」に引き下げた。
	介護予防の普及・啓発を行い、地域ニーズに応じた健康づくり・介護予防を推進する「介護予防サポーター」を養成し、その活動を支援した。
	身近な多場所で運動を取り入れた活動に住民主体で取り組む「くまもと元気くらぶ」の新規立ち上げや活動費を支援した。
	介護予防に継続的に取り組む住民主体の通いの場にリハビリ専門職を派遣し、活動がより効果的になるよう支援した。
	運動機能や口腔機能、栄養状態の低下等が認められた方に対し、リハビリ専門職等による支援を3か月間集中的に実施し、身体機能等の維持・改善を図った。
	集合形式やオンライン形式による認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターを養成するとともに、チームオレンジの立ち上げを支援した。
施策1	「認知症の人と家族の会」に認知症コールセンターの運営業務を委託し、認知症の人や家族からの相談を受け付けた。
	熊本県と共同で、熊本県内の医師・歯科医師・薬剤師を対象とした認知症対応力向上研修を開催し、認知症の方が地域で必要な医療を受け、その地域で暮らし続けられるよう支援した。
	小学生を対象とした「認知症キッズサポーター養成講座」において、認知症サポーターキャラバンのマスコットキャラクターのグッズを作成し、配布している。
	高齢者サロン等で、介護予防・ロコモ等の健康教育を実施
施策1	河内・芳野校区のローソン移動販売車にたんぱく質摂取を促す啓発ステッカーを貼り、高齢者の低栄養予防の啓発を実施。
	出前講座にて、フレイル予防や骨粗しょう症予防のための食事について啓発を行った。

校区民生委員児童委員協議会定例会等の会議、校区単位の健康まちづくりの取組等を通して、要介護状態にならないための生活習慣病予防について啓発。

(参考) **感染症**に配慮した取り組み

感染症に配慮した  
の取り組み内容  
※再掲

・5類移行により、通常通りの対応を行いながら、高齢者の生命や生活を守るべく感染対策を確実にいき、蔓延防止に心掛ける。【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】